

増 田 聰 教 授 略 歴

- 1959（昭和34）年生（於群馬県前橋市）
- 1978年 3月 群馬県立前橋高等学校卒業
- 1978年 4月 東京大学理科一類入学（1982年3月 工学部都市工学科卒業）
- 1982年 4月 東京大学大学院工学系研究科修士課程進学（都市工学専攻）
- 1987年 3月 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（都市工学専攻），工学博士
- 1987年 4月 三菱総合研究所 研究員（1990年9月迄）
- 1990年 10月 東北大学教養部 講師（1993年3月迄）
- 1993年 4月 東北大学大学院情報科学研究科 助教授（空間計画科学，1997年3月迄）
- 1996年 3月 （一財）みやぎ建設総合センター 理事（現在迄）
- 1997年 4月 東北大学大学院経済学研究科 助教授（地域計画，2000年3月迄）
- 1999年 1月 （特活）まちづくり政策フォーラム 代表理事（現在迄）
- 2000年 4月 東北大学大学院経済学研究科 教授（地域計画，現在迄）
- 2001年 4月 東京大学空間情報科学研究センター 客員教授（2024年3月迄）
- 2002年 11月 （特活）みやぎ文化PFI協会（現 とうほくPPP・PFI協会）副会長（現在迄）
- 2007年 9月～2009年3月 King's College London, U.K. Visiting Research Fellow
- 2013年 4月 東北大学災害科学国際研究所 兼務（2024年3月迄）
- 2013年 10月 （一財）東北圏地域づくりコンソーシアム 代表理事（現在迄）
- 2017年 10月 日本学術会議 第24・25期連携会員，第26期特任連携会員（2026年9月迄）
- 2024年 4月 東北大学名誉教授
- 2024年 4月 東北大学大学院経済学研究科 クロスマーチャント教員
- 2024年 4月 帝京大学経済学部地域経済学科 教授

増 田 聰 教 授 研 究 業 績

＜学位論文＞

都市解析のための地理情報システムの開発とその地区区分クラスタリングへの応用に関する一連の研究
東京大学博士論文（工学博士），1987.

I. 著書＜共編著＞

1. 大内秀明・増田聰編著『建設業再生のシナリオ：住民支援型コミュニティ・ビジネスの展開』日本評論社，194頁，2004.
2. みやぎボイス連絡協議会編『みやぎボイス 333 人による一人称の復興史／みやぎボイス 2016』鹿島出版会，224頁，2016.
3. 大内秀明・増田聰・吉野博編著『自然エネルギーのソーシャルデザイン』鹿島出版会，320頁（担当：第Ⅰ部，第Ⅱ部第6章），2018.
4. 増田聰・中村哲也・石塚哉史共編『大震災・原発事故以後の農水産物・食品輸出—輸出回復から拡大への転換に向けて—』農林統計出版，226頁，2021.
5. 川崎興太編集代表（福島長期復興政策研究会編）『福島原発事故と避難自治体：原発避難 12 市町村長が語る復興の過去と未来』東信堂，460頁，2022.
6. 増田聰・稻葉雅子・中村哲也監修：東北大学大学院経済学研究科地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究 VII 東日本大震災と原発事故は何を残したか：大震災・原発事故から復興・復旧の先にある持続的発展のロードマップ』（担当：はじめに，第2，8章，第12章 復興政策の検証-1：震災復興企業実態調査 2021 の概要と津波被災地の再整備，第13章 復興政策の検証-2：震災復興企業調査 2012～2021 を用いた復興支援策の検証）晃洋書房，270頁，2024.

＜分担執筆＞

7. 増田聰 都市はどこまで計画できるか？ 平野厚生・野中克彦編著『社会・文明・環境：いま・改めて「現代」を問う』梓出版社，94-107頁，1993.
8. 増田聰 エベネザー・ハワードの田園都市論. 吉原直樹編著『都市の思想：空間論の再構成にむけて』青木書店，136-157頁，1993.
9. 増田聰 都市計画と農村，戦災と復興，中高層ビルの出現，団地とマンション. 仙台市史編纂室編『仙台市史特別編-4 市民生活』仙台市，152-167・180-189頁，1997.
10. 増田聰 空間計画における戦後改革と GHQ. 吉原直樹編著『都市経営の思想：モダニティ・分権・自治』青木書店，88-112頁，2000.
11. 増田聰 東京オリンピックと首都改造. 吉原直樹編著『都市経営の思想：モダニティ・分権・自治』青木書店，113-136頁，2000.
12. 増田聰 第6章 生活関連の被害. 日本建築学会『2003年5月26日宮城県沖の地震災害調査報告・2003年7月26日宮城県北部の地震災害調査報告』丸善，133-143・293-309・338-340頁，2004.
13. 増田聰 第2章 都市・地域計画とコミュニティ再編. 山田晴義・新川達郎・東北開発研究センター『コミュニティ再生と地方自治体再編』ぎょうせい，36-69頁，2005.
14. 増田聰 企業の地震対策とリスク管理. 東北大学『学びの杜—東北大学 知的探求のススメ II』東北大学出版会，146-147頁，2006.

15. 増田聰 自治体の地域政策を変える：土地利用調整を巡って、まちづくり政策フォーラム編（山田晴義・増田聰・新川達郎・鈴木孝男他編著）『協働で地域づくりを「変える」「つなぐ」「活かす』』ぎょうせい, 3-5・16-33頁, 2006.
16. 増田聰 交通システムを変える、まちづくり政策フォーラム編（山田晴義・増田聰・新川達郎・鈴木孝男他編著）『協働で地域づくりを「変える」「つなぐ」「活かす』』ぎょうせい, 43-59頁, 2006.
17. Satoru Masuda Qualitative Analysis of Two-Dimensional Urban Employee Distributions in Japan: A Comparative Study with Urban Population Distributions by Means of Graph Theoretic Surface Analysis. in Asami, Y., Sadahiro, Y. and Ishikawa, T. (eds.) *New Frontiers in Urban Analysis: In Honor of Atsuyuki Okabe*. CRC Press, pp. 115-132, 2009.
18. 大沼正寛・増田聰・鈴木孝男 3.9.3 被災地の広域性と多様性. 日本建築学会編『2011年東北地方太平洋沖地震災害調査速報』丸善, 176-180頁, 2011.
19. 菅野典雄・岡本全勝・井上博夫・増田聰・清水修二・金子勝 地震・原発災害からの復興と地方自治. 日本地方財政学会編『研究叢書 第19号：地方分権の10年と沖縄、震災復興』勁草書房, 52-74頁, 2012.
20. 増田聰 東日本大震災からの復興と起こりうる未来. 東北大学大学院経済学研究科・地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究I 東日本大震災からの地域経済復興への提言：被災地の大学として何を学び、伝え、創るのか』河北新報出版センター, 1-15頁, 2012.
21. 増田聰・橋爪紳也 復興の中の街づくりと電気. 都市と電化研究会（橋爪紳也・加治木紳哉・西村陽）編『災害と電気 にっぽん電化史2』日本電気協会新聞部, 128-165頁, 2012.
22. 増田聰 東日本大震災からの経済・産業復興二ヶ年の中間評価. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究II 東北地域の産業・社会の復興と再生への提言：復興過程の現実に向き合い、地域の可能性を探る』河北新報出版センター, 1-18頁, 2013.
23. 西山慎一・増田聰・大澤理沙 被災地企業の基本情報と被災状況. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究II 東北地域の産業・社会の復興と再生への提言』河北新報出版センター, 19-35頁, 2013.
24. 増田聰・和田賢一 産業再生と地域経済復興に関わる幾つかの論点. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究III 震災復興政策の検証と新産業創出への提言：広域的かつ多様な課題を見据えながら「新たな地域モデル」を目指す』河北新報出版センター, 1-15頁, 2014.
25. 西山慎一・増田聰・大澤理沙 被災地企業の復興状況. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究III 震災復興政策の検証と新産業創出への提言』河北新報出版センター, 16-32頁, 2014.
26. 増田聰・千葉昭彦・加藤明・桑山涉 震災復興からみる地域産業としての建設業：復興支援からポスト復興を見据えて. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究III 震災復興政策の検証と新産業創出への提言』河北新報出版センター, 235-259頁, 2014.
27. 西山慎一・増田聰・大澤理沙 東日本大震災被災地企業の復興状況. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究IV 新しいフェーズを迎える東北復興への提言：「創造的復興」は果たせるか、4年目のレビュー』南北社, 4-21頁, 2015.
28. 増田聰・千葉昭彦・桑山涉・加藤明 地域の復興と地域建設業の存続：企業アンケートと被災地企業の実情を踏まえて. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究IV 新しいフェーズを迎える東北復興への提言』南北社, 154-169頁, 2015.
29. 増田聰 おわりに：東日本大震災は、東北の地域経済社会をどのように変えるのか?. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究IV 新しいフェーズを迎える東北復興への提言』南北社, 288-298頁, 2015.
30. 増田聰 第3章 トリプル災害からの復興：5.3 産業の復旧・復興、「国難」となる巨大災害に備える編集委員会編『災害対策全集別冊「国難」となる巨大災害に備える：東日本大震災から見た教訓と知見』ぎょうせい, 428-435頁, 2015.

31. 西山慎一・増田聰・井深陽子 東日本大震災被災地企業の復興状況. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究 V 震災復興は東北をどう変えたか：震災前の構造的問題、震災から5年目の課題、これからの東北の新たな可能性』南北社, 4-21頁, 2016.
32. 増田聰・千葉昭彦・高浦康有・桑山渉・加藤明 これからの東北の地域建設業のあり方：復興過程の取り組みから新たな可能性を探る. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究 V 震災復興は東北をどう変えたか』南北社, 152-170頁, 2016.
33. 増田聰 第4部：復興政策の評価にむけて・おわりに. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究 V 震災復興は東北をどう変えたか』南北社, 296-298・323-330頁, 2016.
34. Yuko Araki, Akihiko Hokugo, Satoru Masuda The Great East Japan Earthquake and Tsunami: Lessons for Land Use. in Michiko Banba and Rajib Shaw (eds.) *Land Use Management in Disaster Risk Reduction: Practice and Cases from a Global Perspective*, Springer Japan, pp. 325-351, 2016.
35. 増田聰 自治体レベルの復興計画：策定過程、計画の改定と今後の課題. みやぎ震災復興研究センター（綱島不二雄・塙崎賢明・長谷川公一・遠州尋美）編『東日本大震災 100の教訓 地震・津波編』クリエイツかもがわ, 52-55頁, 2019.
36. 増田聰 第6章 産業再生と復興まちづくり. 日本建築学会編『東日本大震災合同調査報告 建築編 11 建築法制／都市計画』丸善出版, 196-206頁, 2019.
37. 増田聰 第23章 自然災害と地域経済・企業活動. 東北大学災害科学国際研究所編『東日本大震災からのスタート：災害を考える 51 のアプローチ』東北大学出版会, 93-96頁, 2020.
38. 増田聰 4.3 生活関連施設の被害の状況. 日本建築学会東北支部『令和3年2月13日の福島県沖の地震 災害調査速報』日本建築学会, 26-28頁, 2021.
39. 増田聰・高千穂安長 東日本大震災と地域建設業：2010年以降の構造変化と建設産業振興プラン. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究 VI 東日本大震災からの産業再生と地域経済・社会の展望：10年の「震災復興」の歩みは、被災地域に何を残したのか』南北社, 122-142頁, 2022.
40. 中村哲也・丸山敦史・増田聰 福島県の林業再生と森林管理・原木シイタケ栽培再開に関する住民評価：1都4県におけるweb調査からの接近. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究 VI 東日本大震災からの産業再生と地域経済・社会の展望』南北社, 143-163頁, 2022.
41. 磯田弦・西山慎一・増田聰 復興政策の検証：震災復興企業実態調査2012-2015を用いた復興支援策の検証. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究 VI 東日本大震災からの産業再生と地域経済・社会の展望』南北社, 298-322頁, 2022.
42. 増田聰 おわりに：復興検証の先に見据えるべきもの. 地域産業復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究 VI 東日本大震災からの産業再生と地域経済・社会の展望』南北社, 323-328頁, 2022.
43. 小地沢将之・増田聰・村上早紀子 第4章 生活関連の被害. 日本建築学会東北支部・災害調査連絡会『令和4（2022）年3月16日の福島県沖の地震：災害調査速報』日本建築学会, 27-34頁, 2022.
44. 増田聰 震災復興と大川小津波事故. 飯考行編著『子どもたちの命と生きる：大川小学校津波事故を見つめて』信山社, 146-148頁, 2023.
45. 中村哲也・増田聰ほか 第10章 ALPS処理水海洋放出が福島・宮城県沖水産物の購入意向へ与える影響：1都4県におけるWeb調査からの接近, 第11章 福島産原木及び菌床シイタケの購入意向と放射性物質の影響, 第14章 タイ向け福島・宮城県沖水産物の購入意向への影響. 粟原伸一・中村哲也・石塚哉史編『大震災・原発事故のインパクトと復興への道：12年後にひもとく農水産物風評被害と将来戦略』農林統計出版, 2023.
46. 増田聰 グループ補助金は「画期的制度」と評価していいか（38-41頁）, 自治体レベルの復興計画一計画終了と事後評価（68-69頁）, グループ補助金交付先アンケートにみる補助金の効果（148-149頁）. みやぎ震災復興研究センター（千葉昭彦・塙崎賢明・長谷川公一・遠州尋美）編『東日本大

- 震災 100 の教訓 復興検証編 (震災復興・原発震災提言シリーズ)』クリエイツかもがわ, 2023.
47. 増田聰 「まちづくり」概念の成立と地域学. 宮町良広・田原裕子・小林知・井口梓・小長谷有紀編『地域学: 地域を可視化し, 地域を創る』古今書院, 140-151 頁, 2024.
 48. 増田聰・高田篤 広域避難者受入支援の検討: 東北圏地域づくりコンソーシアムによる事例集から. 川崎興太・窪田亜矢・石塚裕子・萩原拓也編『福島復興の視点・論点: 原子力災害における政策と人々の暮らし』明石書店, 269-274 頁, 2024.

II. 論文

<学術論文 (査読付)>

1. 増田聰「クラスター法による首都圏内地方中心都市の従業者分布構造の分析」『日本都市計画学会学術研究発表会論文集』18, 55-60, 1983 年 10 月.
2. Atsuyuki Okabe, Satoru Masuda "Qualitative Analysis of Two-dimensional Urban Population Distributions in Japan" *Geographical Analysis* 16(4), 301-312, 1984 年 10 月.
3. 増田聰「都市内従業者の 2 次元分布構造の定性的分析: グラフ論的曲面分析法による人口分布構造との比較検討」『都市計画論文集』26-A, 79-84, 1991 年 10 月.
4. 増田聰・村山良之「防災型土地利用規制の社会的受容・実施に関わるアジェンダ形成の検討: 活断層研究者らの提言と長町利府線を有する仙台市住民の意識調査を踏まえて」『都市計画論文集』33, 829-834, 1998 年 10 月.
5. 増田聰・村山良之「近年の自然災害とその背景: 活断層沿いの土地利用規制について考える」『地形』20(4), 387-404, 1999 年 7 月.
6. 青木俊明・稻村肇・増田聰・高橋伸輔 「地区レベルでみた都市の居住特性の変化」『土木学会論文集』625, 79-88, 1999 年 7 月.
7. 青木俊明・稻村肇・増田聰「小地区単位における詳細属性別世帯数の予測」『土木学会論文集』646, 27-36, 2000 年 5 月.
8. 増田聰・村山良之「地震災害を考える 予測と対策 地方自治体における防災対策と都市計画 防災型土地利用規制に向けて」『地学雑誌』110(6), 980-990, 2001 年 12 月.
9. 村山良之・増田聰「活断層上への防災型土地利用規制の導入可能性: 全国の市および東京特別区の防災と都市計画担当者の意向」『季刊地理学』53(1), 34-44, 2001 年 3 月.
10. 馬場美智子・増田聰・村山良之・牧紀男「ニュージーランドの防災型土地利用規制に関する考察: 地方分権と資源管理型環境政策への転換との関わりを踏まえて」『都市計画別冊・都市計画論文集』39, 601-606, 2004 年 10 月.
11. 柴山明寛・佐藤健・村山良之・平野信一・松本秀明・増田聰・久田嘉章・源栄正人「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震における建物被害調査」『日本建築学会技術報告集』11(22), 595-600, 2005 年 12 月.
12. 増田聰・村山良之「(土地利用規制を利用した防災対策の全体—安全・安心な国土を目指して—) 4. 活断層に関する防災型土地利用規制／土地利用計画: ニュージーランドの「指針」とその意義を日本の実状から考える」『自然災害科学』25(2), 146-151, 2006 年 8 月.
13. Masato Motosaka, Koh Tsukahara, Satoru Masuda, Masaki Maeda, Takeshi Sato, Susumu Ohno "STRATEGY FOR EARTHQUAKE DISASTER PREVENTION AGAINST THE APPROACHING MIYAGI-KEN OKI EARTHQUAKE, JAPAN" *Proceedings of the First European Conference on Earthquake Engineering and Seismology -2006*, 10, 2006 年 9 月.
14. 塩田哲生・佐藤健・増田聰・村山良之・柴山明寛・源栄正人「仙台市における自主防災組織の地震災害対応力評価」『日本建築学会技術報告集』14(28), 661-664, 2008 年 10 月.
15. 佐藤健・塩田哲生・増田聰・村山良之・柴山明寛・源栄正人「コミュニティ防災計画支援のための

- 地域防災力評価手法とその仙台市への適用」『自然災害科学』27(4), 387-399, 2009年3月.
16. 佐藤健・村山良之・駒沢健二・當摩聰子・増田聰・柴山明寛・源栄正人「自然と社会の地域学習に基づいた小学生のための災害安全教育モデルの開発と実践—仙台市長町地域を例に—」『安全教育学研究』9(1), 31-48, 2009年8月.
 17. Takeshi Sato, Satoru Masuda, Yoshiyuki Murayama, Akihiro Shibayama, Masato Motosaka, Akira Mano "Proposal of Regional Safety Factors for Balance in Risk-Response Ability of Local Voluntary Disaster Prevention Organizations and Their Application to Sendai City, Japan" *Journal of Natural Disaster Science* 32(1), 23-38, 2010年8月.
 18. 佐藤健・佐藤浩樹・増田聰「宮城県における防災教育指導教員の教育推進ニーズに関する調査」『安全教育学研究』10(1), 17-29, 2010年3月.
 19. 佐藤健・柴山明寛・増田聰・源栄正人「災害安全教育支援のための防災情報共有プラットフォームの開発」『第13回日本地震工学シンポジウム論文集』CD-ROM 13th, 1830-1837, 2010年11月.
 20. 佐藤健・村山良之・増田聰「小学生のための地域性を考慮した地震防災教育の実践」『安全教育学研究』11(1), 25-40, 2011年3月.
 21. 増田聰「災害危険区域と防災集団移転促進事業に関わる課題群」『日本災害復興学会誌 復興』5(3), 73-79, 2014年5月.
 22. 佐藤健・増田聰・柴山明寛「仙台市地域防災リーダーの養成プログラムの開発」『日本地震工学会論文集』15(7), 474-484, 2015年12月.
 23. 中村哲也・増田聰「チェルノブイリ法と国家計画が果たしたペラルーシの農業復興」『開発学研究』30(1), 43-56, 2019年7月.
 24. 中村哲也・増田聰・丸山敦史・矢野佑樹「原発事故被害からの克服政策に関する市民評価：ペラルーシを事例として」『開発学研究』30(1), 1-16, 2019年7月.
 25. Yuzuru Isoda, Satoru Masuda, Shin Ichi Nishiyama "Effects of post-disaster aid measures to firms: Evidence from Tohoku university earthquake recovery firm survey 2012-2015" *Journal of Disaster Research* 14(8), 1030-1046, 2019年11月.
 26. Tetsuya Nakamura, Satoru Masuda, Atsushi Maruyama, Yuki Yano "Citizen satisfaction and continuing intentions regarding support and compensation prescribed by the Chernobyl act: A case study of the Russian Central Federal District" *Journal of Disaster Research* 14(8), 1086-1104, 2019年11月.
 27. 中嶋紀世生・増田聰・中村哲也「地域づくりへの参画とその関心度—宮崎県大崎市岩出山地域における住民アンケートからの接近—」『日本都市学会年報』53, 137-144, 2020年5月.
 28. R. Miyamoto, I. Sato, S. Masuda, A. Suppasri, F. Imamura "TSUNAMI FRAGILITY ANALYSIS FOR INDUSTRIAL AND COMMERCIAL PROPERTIES" *Proceedings of the 17th World Conference on Earthquake Engineering*, CDROM, 2020年9月.
 29. Tetsuya Nakamura, Satoru Masuda, Akifumi Kuchiki, Atsushi Maruyama "Effects of radioactive contamination from the Semipalatinsk nuclear test site on behavior related to food choices: A case study of Kazakhstan" *Journal of Disaster Research* 15(7), 991-1010, 2020年12月.
 30. 増田聰「NPO活動の持続性と事業承継：(特非)まちづくり政策フォーラムの経験から」『同志社政策科学研究(新川達郎教授退職記念号)』22(2), 69-85, 2021年3月.
 31. Tetsuya Nakamura, Steven Lloyd, Atsushi Maruyama, Satoru Masuda "Impact on Fisheries in Contaminated Water Discharged from Nuclear Power and Reprocessing Plants: The Cases of La Hague Reprocessing Plant, Sellafield Nuclear Fuel Reprocessing Plant, and TEPCO Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant" *Journal of Disaster Research* 16(5), 840-865, 2021年8月.
 32. Takeshi Sato, Aiko Sakurai, Akihiro Shibayama, Satoru Masuda "Place-Based Activities of SENDAI BOSAI Leaders (SBLs) for Disaster Risk Reduction" *17th WORLD CONFERENCE ON EARTHQUAKE ENGINEERING*, CDROM, 2021年9月.

33. Tetsuya Nakamura, Steven Lloyd, Atsushi Maruyama, Satoru Masuda “Public Reaction to Disaster Reconstruction Policy : Case Studies of the Fukushima and Chernobyl Nuclear Accidents” *Journal of Disaster Research* 16(8), 1207-1233, 2021 年 12 月.
34. Tetsuya Nakamura, Steven Lloyd, Atsushi Maruyama, Satoru Masuda “Public Attitudes Toward Decontamination and Regional Regeneration : A Case Study of Hanford Site in Washington” *Journal of Disaster Research* 17(7), 1165-1182, 2022 年 12 月.
35. Tetsuya Nakamura, Steven Lloyd, Atsushi Maruyama, Satoru Masuda “Public Evaluation of the Reconstruction and Regeneration of Fukushima 10 Years After the Earthquake” *Journal of Disaster Research* 18 (2), 162-177, 2023 年 2 月.
36. Tetsuya Nakamura, Satoru Masuda, Atsushi Maruyama, Steven Lloyd “Issues related to the installation of solar panels and preferences for next-generation energy : A case study of Switzerland as it aims for withdrawal from nuclear energy” *The Keizai Gaku : Annual Report of The Graduate School of Economics and Management, Tohoku University* 79(1), 17-50, 2023 年 3 月.
37. 中村哲也・増田聰・丸山敦史・矢野佑「再生可能エネルギーと高速増殖炉推進に関するロシア市民の評価：チェルノブイリ原発事故 30 年後の中央連邦管区を事例として」『研究年報経済学』(東北大) 79(1), 51-72, 2023 年 3 月.
38. Tetsuya Nakamura, Atsushi Maruyama, Satoru Masuda, Steven Lloyd, Akifumi Kuchiki “Knowledge of Energy Resources and Next Generation Energy Choice Behaviour : A Case Study of Kazakhstan” *Sustainability* 15(17), 13-19, 2023 年 8 月.
39. Steven Lloyd, Tetsuya Nakamura, Satoru Masuda “Public Perceptions of the Aral Sea Disaster in Uzbekistan” *Journal of Disaster Research* 18(7), 783-795, 2023 年 10 月.
40. Tetsuya Nakamura, Atsushi Maruyama, Satoru Masuda, Steven Lloyd “The Impact of Russia’s Invasion of Ukraine on Germany’s Energy Choice Attitudes among Residents in German States with Nuclear Power Plants in Commission or Decommissioned” *Sustainability* 16(5), 1999, 2024 年 2 月.

＜学術論文（査読なし）・紀要論文・総説・ディスカッションペーパーほか＞

1. 増田聰「大都市行政と住民」『都政研究』22(5), 4-9, 1988 年.
2. 二瓶正・橋本修左・増田聰「制御室環境評価手法に関する研究 (1) 環境チェックリストの開発」『人間工学』27(Suppl), 1991 年.
3. 橋本修左・二瓶正・増田聰「制御室環境評価手法に関する研究 (2) 環境可変実験」『人間工学』27 (Suppl), 1991 年.
4. 増田聰「大学一般教育における都市・地域計画教育の可能性：学生による地域調査の実践を通じて」『季刊地理学』45(3), 209-210, 1993 年 5 月.
5. 坂田慎二・増田聰・稻村肇「土地区画整理事業の展開に伴う住民参加の実証的研究：仙台駅東土地区画整理事業への住民反応を例に」『土木学会東北支部技術研究発表会講演概要』1993, 1994 年 3 月.
6. 村山文人・増田聰・稻村肇「仙台都市圏における土地利用実態の解析」『土木学会東北支部技術研究発表会講演概要』1993, 1994 年 3 月.
7. 坂田慎二・増田聰・稻村肇「来街者行動からみた都心範囲の確定と行動特性の把握」『土木計画学研究・講演集』18(1), 265-268, 1995 年 1 月.
8. 村山文人・増田聰・稻村肇「仙台市商業地域における土地利用と用途地域の関連」『土木計画学研究・講演集』18(2), 449-452, 1995 年 1 月.
9. 村山良之・増田聰・福井巧・川口裕輔「宅造地の人工的地形改変と地震被害 神戸市垂水区の事例」『日本地理学会予稿集』48, 420-421, 1995 年 10 月.
10. 増田聰「仙台市における成長管理型環境政策の展望」『市史せんだい（仙台市博物館）』5, 62-78,

1995年7月.

11. 高橋伸輔・増田聰・稻村肇「国勢調査に基づく都市内の居住特性解析」『土木計画学研究・講演集』19(1), 411-414, 1996年1月.
12. 若井亮太・増田聰・稻村肇「地震時におけるライフラインの信頼性: 仙台市の上水道システムを事例として」『土木学会東北支部技術研究発表会講演概要』1995, 1996年3月.
13. 高橋伸輔・増田聰・稻村肇「都市型居住を視野に入れた仙台市の都心及びその周辺部の現状と課題」『土木学会東北支部技術研究発表会講演概要』1995, 1996年3月.
14. 増田聰「計画論再考: 計画案の生産・流通・消費・廃棄に関わるライフ・サイクルの視点から」『東北開発研究(東北開発研究センター)』104, 51-53, 1997年1月.
15. 青木俊明・稻村肇・増田聰「国勢統計区単位でみた都市内の世帯構成の変化」『土木計画学研究・講演集』20(2), 611-614, 1997年1月.
16. 若井亮太・増田聰・坂田慎二・稻村肇「都心部における機能集積とその評価」『土木計画学研究・講演集』20(2), 615-618, 1997年1月.
17. 吉田直哉・増田聰・稻村肇「用途地域・容積率指定に着目した土地利用変化分析」『土木学会東北支部技術研究発表会講演概要』1996, 1997年3月.
18. 鈴木温・増田聰・稻村肇「防災型土地利用計画に関わる住民意識構造の分析」『土木学会東北支部技術研究発表会講演概要』1996, 1997年3月.
19. 増田聰・村山良之「防災型土地利用規制の受容可能性: 仙台市住民の意識調査の結果を中心に」『日本地理学会発表要旨集』54, 136-137, 1998年9月.
20. 青木俊明・稻村肇・増田聰「小地区単位における都市の居住特性の将来予測」『土木計画学研究・講演集』21(2), 1998年1月.
21. 増田聰・村山良之「地域防災計画等の改訂と防災型土地利用規制: 仙台市の場合」『日本地理学会発表要旨集』56, 64-65, 1999年10月.
22. 増田聰「中心市街地活性化基本計画を巡る幾つかの論点」『MRIRA(宮城県地域振興センター)』7, 24-27, 1999年3月.
23. 増田聰・路峰「中国経済開発区へ進出する外資系デベロッパーの活動: 山東省煙台経済技術開発区に立地する『煙台聯合発展有限公司』の事例」『季刊地理学』52(1), 78, 2000年3月.
24. 増田聰「中心市街地活性化基本計画にみる地域経営の課題」『TOKEIREN(東北経済連合会)』398, 11, 2000年3月.
25. Satoru Masuda, Yoshiyuki Murayama "Land Use Planning for Hazard Mitigation in Japan". *Proceedings of International Geographical Congress*, 2000年8月.
26. 吉原直樹・佐藤善建・増田聰・白川由利枝「シンクタンク研究員たちのみた東北の都市群像」『SURF(仙台都市総合研究機構)』13(3), 2-25, 2001年.
27. 高田篤・増田聰「宮城県仙台市における市民活動・NPO支援の現状と課題について: 仙台市市民活動サポートセンター設立までの経緯を中心に」『日本NPO学会第3回年次大会予稿集』, 2001年1月.
28. 村山良之・増田聰「災害関連情報の公開と都市計画策定過程における利用」『日本地理学会発表講演集』59(5), 5, 2001年3月.
29. 増田聰・村山良之「自治体における防災型土地利用規制(土地利用計画)の導入例」『日本地理学会発表要旨集』60, 2001年9月.
30. 増田聰「地方都市におけるまちづくりの現場から」『建築雑誌(建築年報2001)』116(1477), 111-112, 2001年9月.
31. Satoru Masuda "Regulation, planning and incentives for urban disaster prevention in the case of land use control", *Papers for open forum: Interdisciplinary collaboration for earthquake disaster prevention*, The

Disaster Control Research Center, Tohoku Univ., 29-32, 2002 年.

32. 鈴木孝男・増田聰・山田晴義「制度設計のための市民参加型ロールプレイの可能性（仙台市土地利用調整システムに関する公開ミーティングを事例に）」『日本建築学会学術講演梗概集 2002 年度』, 745-746, 2002 年 8 月.
33. 村山良之・増田聰「カリフォルニア州における地震災害地図化プログラムの発足と展開」『日本地理学会発表要旨集』62, 148-148, 2002 年 9 月.
34. 増田聰・村山良之・馬場美智子「ニュージーランドウエリントン県における活断層上の土地利用規制」『季刊地理学』55(3), 211-212, 2003 年 5 月.
35. 柴山明寛・大田俊一郎・平野信一・松本秀明・村山良之・増田聰・佐藤健・源栄正人「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震の建物被害速報（1）」『日本地震学会秋季大会講演予稿集』2003, 2003 年 10 月.
36. 大田俊一郎・柴山明寛・平野信一・松本秀明・村山良之・増田聰・佐藤健・源栄正人「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震の建物被害速報（2）」『日本地震学会秋季大会講演予稿集』2003, 2003 年 10 月.
37. 平野信一・松本秀明・村山良之・増田聰「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震による旭山とう曲周辺の地盤変状と被害」『日本地震学会秋季大会講演予稿集』2003, 2003 年 10 月.
38. 村山良之・増田聰・馬場美智子「ニュージーランドにおける防災型土地利用規制—活断層上の土地利用規制の実例より—」『日本地理学会発表要旨集』64, 159-159, 2003 年 10 月.
39. 柴山明寛・久田嘉章・佐藤健・源栄正人・増田聰「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震における木造建物の地域別被害分布」『日本地震工学会大会梗概集』2nd, 特 128-特 129, 2003 年 11 月.
40. 村山良之・平野信一・松本秀明・増田聰「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震による災害」『地理』579(11), 43-48, 2003 年 11 月.
41. 村山良之・柴山明寛・佐藤健・増田聰・松本秀明・平野信一・寺木彰浩・阪田知彦「地震建物被害調査方法の提案—2003 年宮城県北部の地震の経験より—」『東北地域災害科学研究』40, 49-54, 2004 年 3 月.
42. 佐藤健・柴山明寛・源栄正人・増田聰「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震における建物被害調査：建物破壊パターン分類を用いた被害判定に及ぼす調査員の影響」『東北地域災害科学研究』40, 55-58, 2004 年 3 月.
43. 柴山明寛・佐藤哲也・久田嘉章・佐藤健・源栄正人・増田聰「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震における応急危険度判定と建物被害調査との比較」『東北地域災害科学研究』40, 59-64, 2004 年 3 月.
44. 平野信一・松本秀明・村山良之・増田聰「2003 年宮城県北部の地震による旭山丘陵の地盤変状と被害」『東北地域災害科学研究』40, 89-94, 2004 年 3 月.
45. 村山良之・平野信一・松本秀明・増田聰・佐藤健・源栄正人・柴山明寛「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震による被害：建物被害分布とその特徴」『季刊地理学』56(1), 53-54, 2004 年 3 月.
46. 平野信一・松本秀明・村山良之・増田聰「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震による被害：旭山丘陵周辺の地盤変状と建物被害」『季刊地理学』56(1), 54, 2004 年 3 月.
47. 増田聰「宮城県内市町村の地域防災計画の現状と課題」『仙台都市研究』3, 12-28, 2004 年 7 月.
48. 増田聰・柴山明寛・佐藤健・村山良之・源栄正人「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震災害調査研究：悉皆調査（その 1）建物被害の悉皆調査の概要」『日本建築学会学術講演梗概集 B-2 構造 2』2004, 1077-1078, 2004 年 8 月.
49. 佐藤健・柴山明寛・村山良之・源栄正人・増田聰「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震災害調査研究：悉皆調査（その 2）悉皆調査による木造建物の地区別被害分布」『日本建築学会学術講演梗概集 B-2 構造 2』2004, 1079-1080, 2004 年 8 月.
50. 佐藤哲也・柴山明寛・久田嘉章・佐藤健・源栄正人・増田聰「2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震災害調査研究：悉皆調査（その 3）応急危険度判定結果からの地域別被害」『日本建築学会学術講演梗概集 B-2 構造 2』2004, 1081-1082, 2004 年 8 月.

51. 柴山明寛・佐藤哲也・久田嘉章・佐藤健・源栄正人・増田聰「2003年7月26日宮城県北部の地震における建物被害調査：悉皆調査（その4）悉皆調査と応急危険度判定との比較」『日本建築学会学術講演梗概集B-2構造2』2004, 1083-1084, 2004年8月.
52. 増田聰「（建築設備の耐震対策：宮城県地震に学ぶ）ライフラインの被害と避難の状況」『建築設備と配管工事』42(8), 38-44, 2004年8月.
53. 佐藤健・源栄正人・柴山明寛・増田聰「2003年7月26日宮城県北部の地震における家具の転倒被害と転倒防止対策の変化」『第23回日本自然災害学会学術講演会講演概要集』, 27-28, 2004年9月.
54. 柴山明寛・佐藤健・村山良之・増田聰・源栄正人・久田嘉章「2003年7月26日宮城県北部の地震における復旧復興調査」『第23回日本自然災害学会学術講演会講演概要集』, 33-34, 2004年9月.
55. 増田聰・村山良之「宮城県における2003年の地震経験と製造業の地震対策・リスク管理」『日本地理学会発表要旨集』66, 70, 2004年9月.
56. 柴山明寛・佐藤哲也・佐藤健・源栄正人・増田聰・久田嘉章・寺木彰浩「2003年7月26日宮城県北部地震における応急危険判定からみた木造建築物の地域別被害要因について（E一般セッション）」『地域安全学会梗概集』15, 175-178, 2004年11月.
57. 佐藤健・源栄正人・柴山明寛・増田聰「2003年7月26日宮城県北部の地震における家具の転倒被害率と事後対策率との関係」『日本地震工学会大会梗概集』3rd, 310-311, 2005年1月.
58. 村山良之・増田聰・梅津洋輔「ニュージーランドの活断層上と近傍の開発計画指針」『日本地理学会発表要旨集』67, 224-224, 2005年3月.
59. 増田聰「新市建設設計画を読む：新大崎市・石巻市・栗原市・登米市計画から（シンポジウム 地域づくりと市町村合併）」東北学院大学『東北産業経済研究所紀要』24, 3-15, 2005年3月.
60. 増田聰・川瀬憲子・大槻清「シンポジウム 地域づくりと市町村合併—自立する独自のまちづくり」東北学院大学『東北産業経済研究所紀要』24, 43-47, 2005年3月.
61. 増田聰・鈴木孝男「タウンミーティング型ワークショップに関する調査結果の報告」『日本地域ガバナンス学会梗概集』2, 73-80, 2005年7月.
62. 増田聰「人口減少時代の公共投資：地域の社会ストック管理へ」『MRIRA ニューズレター（宮城県地域振興センター）』32, 6-8, 2005年9月.
63. 近岡綾子・増田聰・吉田奈々子「高齢者通所介護施設の整備に関する研究：宮城県における立地・建物調査を通じて」『日本都市学会大会発表要旨集』52, 23-24, 2005年10月.
64. アクセル リヒター・増田聰「Economic Analysis of Local and Central Funding of Education：中央政府および地方政府による教育財源の経済学的分析」『日本都市学会大会発表要旨集』52, 77-78, 2005年10月.
65. 増田聰「総論：グランド・デザイン」『地域づくり情報誌 Tao（国土交通省東北地方整備局）』27, 1-2, 2005年10月.
66. 梅津洋輔・里村亮・増田聰「被害予測を中心とする災害情報の公開と活用」『季刊地理学』58(1), 40-41, 2006年3月.
67. 増田聰・源栄正人・千葉宇京・門脇喜典・高橋悌二郎・塙原光・佐々木貴子・濫谷拓郎「パネルディスカッションの記録・宮城県沖地震対策の現状と課題：いま、宮城県沖地震を迎えるか」『自然災害科学』25(1), 28-32, 2006年5月.
68. 増田聰・村山良之・梅津洋輔・近藤誠司「日本の市町村都市計画における活断層情報の利用」『日本地理学会発表要旨集』70, 76, 2006年9月.
69. 増田聰・鈴木孝男・山田晴義「仙台市『杜の都の風土を守る土地利用調整条例』の導入と評価：規制・誘導・調整・管理・計画・協働…？」『日本建築学会・農村計画部門研究協議会資料』38, 44-49, 2006年9月.
70. 佐藤健・増田聰・村山良之・柴山明寛・源栄正人「想定宮城県沖地震に関する地震リスクの地域格

- 差と地域防災力」『第 25 回日本自然災害学会学術講演会講演概要集』, 167-168, 2006 年 11 月.
71. 村山良之・増田聰・佐藤健・柴山明寛・長田正樹・中尾邦彦・大田俊一郎・里村亮・川村宇史「専門的知識をふまえた地震防災ワークショップの試み」『東北地域災害科学研究』43, 73-76, 2007 年 1 月.
72. 野々山和宏・増田聰「国土形成計画法の検討経緯における『海洋・沿岸域』のアジェンダ化」『季刊地理学』59(1), 32, 2007 年 4 月.
73. 柴山明寛・佐藤健・五十田博・増田聰・岡田成幸・村山良之・田守伸一郎・久田嘉章「建物の構造的被害を中心とした迅速悉皆調査手法に関する研究」『日本建築学会学術講演梗概集 B-2 構造 2』2007, 671-672, 2007 年 8 月.
74. 柴山明寛・長田正樹・堀伸三郎・奥野哲朗・増田聰・佐藤健・源栄正人「宮城県沖地震に備えた防災情報共有プラットフォームの開発」『地域安全学会梗概集』21, 113-114, 2007 年 11 月.
75. 柴山明寛・長田正樹・増田聰・佐藤健・堀伸三郎・奥野哲朗・源栄正人「宮城県沖地震に備えた防災情報共有プラットフォームの開発とその運用方法について」『東北地域災害科学研究』44, 97-102, 2008 年 1 月.
76. 仁平義明・吉原直樹・平川新・増田聰・今村文彦・佐藤拓・今野晃嗣「東北 6 県全市町村の防災研修ニーズ:『防災・被災対応のソフトウェア』の重要性」『仙台都市研究』6, 1-9, 2008 年 5 月.
77. 庄子真岐・孫明希・増田聰「文化を基盤とした地域発展戦略と観光に関する研究—光州広域市の文化都市づくり事業を事例として」『日本観光研究学会全国大会学術論文集』23, 373-376, 2008 年 11 月.
78. 増田聰「中心市街地の再生とまちづくりの担い手」『日本建築学会東北大会資料集』, 33-36, 2009 年.
79. 増田聰「活断層を考慮したまちづくりの現状と課題」『ビルディングレター』525, 62-73, 2009 年 9 月.
80. 増田聰「東北地方における PFI 事業の展開」『季刊地理学』62(1), 48-49, 2010 年 3 月.
81. 増田聰「地震本部の成果発信と活断層を考慮したまちづくり: ニュージーランドの活断層指針を出发点として」文部科学省『地震本部ニュース』平成 22 年 4 月号, 6-9, 2010 年 4 月.
82. 佐藤健・増田聰・源栄正人「自主防災組織の災害対応力と災害時行動との関係」『日本自然災害学会学術講演会講演概要集』29th, 71-72, 2010 年 9 月.
83. 増田聰・村山良之「ニュージーランドにおける防災型土地利用規制の新展開: 斜面災害指針の提案」『日本地理学会発表要旨集』2010(78), 77, 2010 年 10 月.
84. 増田聰「防災型土地利用計画の進展: 1999 / 2009 年度自治体調査から」『日本都市学会大会発表要旨』57th, 59-60, 2010 年 10 月.
85. 佐藤健・柴山明寛・増田聰・源栄正人「災害安全教育支援のための防災情報共有プラットフォームの開発」『日本地震工学シンポジウム論文集』13th, 1830-1837, 2010 年 11 月.
86. 増田聰・村山良之「ニュージーランドにおける防災型土地利用規制の拡大: 土砂災害指針の策定と運用」『季刊地理学』62(3), 188-188, 2010 年 11 月.
87. 増田聰「自治体による防災型土地利用計画の展開」『季刊地理学』63(1), 44-45, 2011 年 3 月.
88. 相羽康郎・姥浦道生・奥村誠・北原啓司・鈴木孝男・鈴木浩・増田聰・南正昭・山口邦雄・宮田裕介「[東北支部緊急座談会] 東北の再生と計画技術支援」『都市計画』60(3), 39-44, 2011 年 6 月.
89. 増田聰「産業復興のキーワード: 地域計画的視点」『縁』(創刊号), 82-84, 2011 年 10 月.
90. 増田聰「東日本大震災からの復興と『起こりうる未来』」, 『まなびの杜(地域と大学)』59, 2, 2012 年 3 月.
91. 増田聰「復興計画の評価ルールを早急に」, 建設通信新聞編『第二部: 復興へ』, 24, 2012 年 3 月 12 日.
92. 増田聰「復興まちづくりを巡るいくつかの論点」『Biophilia』1, 26-31, 2012 年 4 月.

93. 稲村肇・今西肇・姥浦道生・鈴木孝男・平野勝也・増田聰・南正昭・三宅諭・奥村誠・吉藤浩「東北の復興計画と課題」『都市計画』61(2), 50-55, 2012年4月.
94. 増田聰「農と食の創造的復興へ用途転換: 仙台塩釜港活かし産業集積」, 建設通信新聞編『東日本大震災・復興への道標: 12ヶ月の記録』, 234-235, 2012年5月31日.
95. 増田聰「復興(都市)計画の課題: 土地利用と産業再生」『季刊地理学』64(2), 82-84, 2012年6月.
96. 増田聰・村山良之「丘陵地等の造成地における地震災害と復興に関する課題—1995阪神・淡路大震災と2011東日本大震災—」『日本地理学会発表要旨集』2012(82), 100106, 2012年10月.
97. 岩動志乃夫・磯田弦・増田聰・関根良平「東日本大震災による商業地の被害と復興: 岩手県宮古市中心商業地の事例—被災地再建研究グループによる研究—」『日本地理学会発表要旨集』2012(82), 100083, 2012年10月.
98. 増田聰「東日本大震災 復興のアボリア: 居住地再建の諸問題 住めなくなる土地の意味—不動産が受ける影響」『建築雑誌』127(1639), 38-40, 2012年12月.
99. 増田聰「津波リスクの評価と土地利用規制: 仙台市東部地域・名取市閑上地区におけるリスク・コミュニケーション上の課題」『季刊地理学』64(3), 142-143, 2013年3月.
100. 増田聰「震災復興企業実態調査からみた東日本大震災の被災像」『季刊地理学』65(1), 58-59, 2013年3月.
101. 増田聰・菅野拓・山本隆・畠山卓・重川希志依・吉原直樹「パネルディスカッション(特集 公開シンポジウム『復興とボランティア活動』記録)」『東北都市学会研究年報』13, 123-137, 2013年3月.
102. 村山良之・増田聰「活断層上の土地利用規制を含む徳島県の防災条例: 条例の制定プロセスと成立の条件」『日本地理学会発表要旨集』2013(84), 100101, 2013年9月.
103. 増田聰「シンポジウム開催にあたって: 仮設住宅から復興公営住宅へ—地理学と隣接分野からの提言—」『日本地理学会発表要旨集』2013(84), 100104, 2013年9月.
104. 増田聰「仮設住宅のあり方と政策的な提言: 東日本大震災における仮設住宅の生活環境と住民の健康—パーソナル・スケールでの実証的研究に基づく提言—」『E-journal GEO』8(1), 190-191, 2013年8月.
105. 佐藤健・増田聰・柴山明寛「仙台市地域防災リーダーの養成プログラムの開発」『日本地震工学シンポジウム論文集(CD-ROM)』14th(7), 7_474-7_484, 2014年.
106. 増田聰「『住まいの復興』に向かうひとつの道: 仮設住宅から災害公営住宅へ(特集 復興支援地理学の役割)」『地理』59(1), 22-32, 2014年1月.
107. 増田聰「東日本大震災 復興まちづくりのこれからに向けて(13) 三年目の課題とこれから: 復興計画・事業は仕切り直せるのか?」『新都市』68(2), 33-35, 2014年2月.
108. 増田聰・岩船昌起「仮設住民のくらし: 震災から2年(第11回)住まいの再建と復興計画の再検証」『地理』59(3), 78-88, 2014年3月.
109. 増田聰・叶鶴「東日本大震災からの復興まちづくりと被災地住民の再建意向: 仙台市宮城野区南蒲生地区の事例」『季刊地理学』66(2), 148, 2014年6月.
110. 増田聰「TOHOKU ナウ 復興に向けて: (5) 東日本大震災からの地域産業復興」『日本地震工学会誌』23, 34-36, 2014年10月.
111. 増田聰・佐藤正実「まちづくり・地域学習ツールとしての古地図アプリの可能性: 『仙台地図さんぽ』の事例」『地図』52, 26-27, 2014年12月.
112. 関根良平・佐々木達・小田隆史・増田聰「福島県いわき市における農産物風評被害のダイナミクス: 第2回農産物購買行動アンケート」『日本地理学会発表要旨集』2014(85), 100293, 2014年12月.
113. 増田聰「東日本大震災からの地域産業の再生・復興: 震災復興企業実態調査に見る5年目の現状と課題」『Business labor trend(労働政策研究・研修機構)』2016年3月号, 36-39, 2016年3月.

114. 増田聰「東日本大震災からの復興過程で提起された『新しい都市学』の方向性」『日本都市学会大会発表要旨集』63, 2, 2016年10月.
115. 増田聰「宮城の未来、復興へのまちづくり(宮城自治研)」『月刊自治研』58(686), 50-60, 2016年11月.
116. 増田聰「被災自治体のコミュニティ再生と自治体職員(特集 大災害と自治体職員の対応力)」『ガバナンス』191, 30-32, 2017年3月.
117. 高田弘子・戸所隆・中鉢令兒・増田聰・浦野正樹・畠山直子・三井栄・松沢俊雄・小長谷一之・平篤志・堤昌文「特別セッション 新しい都市学の成立を目指して(日本都市学会第63回大会テーマ:地方創生と観光まちづくり)」『日本都市学会年報』50, 41-66, 2017年5月.
118. 増田聰「『防災』と『まちづくり』を『現場』で結びなおす:被害の軽減と確かな復興に向けて動き出すために」『地域づくり』2017.9, 2-5, 2017年9月.
119. 増田聰「震災復興のヒューマンファクター」『人間工学』54 (Supplement), S5-1, 2018年6月.
120. 増田聰・手島浩之・菅野拓・高田篤・松原久・新井信幸「東日本大震災からの復旧・復興過程で明らかになった人的要因・人間工学的課題」『人間工学』54(Supplement), S5-2, 2018年6月.
121. 増田聰・稻葉雅子「復興・創生—新しい東北に向けて:復興・創生期間における観光振興の目指すところ」『土木学会誌』103(7), 10-11, 2018年7月.
122. 吉田祐也・佐々木秀之・増田聰「東日本大震災における都市近郊農村の復興まちづくり:仙台市岡田地区の町内会組織の動向と行政施策との関連性の整理」, 日本建築学会大会(東北)・農村計画部門・研究協議会資料(2018年度)『震災復興から俯瞰する未来社会と計画学II:東北復興からの発信』, 67-70, 2018年9月.
123. 宮本龍・佐藤一郎・林晃大・増田聰「企業の有形固定資産を対象とした津波損傷度曲線の構築」『日本建築学会大会学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集(CD-ROM)』2019, 63-64, 2019年.
124. 増田聰「自治体復興計画の見直し、改定をどのように進めるか(特集 長期的な復興支援と自治体)」『ガバナンス』215, 23-25, 2019年3月.
125. 中村哲也・増田聰・丸山敦史・Steven Lloyd「太陽光パネルを設置する際の課題と次世代エネルギーの選好意識—原子力撤退を目指すスイスを事例として」『東北大学経済学研究科 TERG Discussion Paper』420, 2020年3月.
126. 高千穂安長・増田聰「安心・安全なまちづくり—簡易政策評価による雪害死傷者減少の智恵づくり—」『日本都市学会年報』53, 309-314, 2020年5月.
127. 中村哲也・丸山敦史・Steven Lloyd・増田聰・朽木昭文「エネルギーに関する知識が次世代エネルギーの選択行動に与える影響:カザフスタンを事例として」『東北大学経済学研究科 TERG Discussion Paper』424, 2020年6月.
128. 中村哲也・濱島敦博・丸山敦史・増田聰「輸入規制措置解禁後における5県産農産物の購入意向:福島、茨城、栃木、群馬、千葉産の香港輸出を事例として」『東北大学経済学研究科 TERG Discussion Paper』427, 2020年7月.
129. 中村哲也・丸山敦史・濱島敦博・増田聰「ロシア向け植物工場及び水産物の輸出拡大に関する統計的分析:極東連邦管区を事例として」『東北大学経済学研究科 TERG Discussion Paper』428, 2020年7月.
130. 中村哲也・Steven Lloyd・丸山敦史・増田聰「原子力発電所及び核再処理工場から放流される汚染水問題と周辺漁業へもたらす影響:La Hague 再処理工場、Sellafield 核燃料再処理工場、及び東京電力福島第一原子力発電所を事例として」『東北大学経済学研究科 TERG Discussion Paper』430, 2020年9月.
131. 中村哲也・Steven Lloyd・丸山敦史・増田聰「原発被災地の復興政策に関する市民評価と福島復興への提言: チェルノブイリ及び福島第一原発の被災地を事例として」『東北大学経済学研究科 TERG

- Discussion Paper』438, 2020 年 11 月.
132. 高千穂安長・増田聰「国・自治体とコミュニティの連携による防災」『東北大大学経済学研究科 TERG Discussion Paper』439, 2020 年 11 月.
133. 増田聰「東日本大震災からの復興検証試論：社会的インパクト評価と再帰的ガバナンス（特集 復興からその先へ）」『NETT：North East Think Tank（北海道東北地域経済総合研究所機関誌）』111, 14-17, 2021 年.
134. 増田聰「これから姿をどう描き、実現していくかが重要に」『東北ジャーナル』39(3), 14-16, 2021 年 3 月.
135. 高木亨・山川充夫・初澤敏生・増田聰「原子力災害被災地・これまでの 10 年とこれからの 10 年：被災地復興とアーカイブズから地理学の果たす役割を考える」『E-journal GEO』16(2), 352-355, 2021 年 12 月.
136. 中村哲也・増田聰・丸山敦史・Steven Lloyd「ハンフォード・サイトの浄化とまちづくりに関する意識調査—アメリカ・ワシントン州を事例として—」『季刊地理学』73(3), 212-213, 2021 年 12 月.
137. 増田聰「防災型土地利用規制の今：防集事業から立地適正化・流域治水論」『季刊地理学』73(3), 223, 2021 年 12 月.
138. 中村哲也・丸山敦史・増田聰「福島の林業再生と森林管理、原木シイタケ栽培再開に関する住民評価：1 都 4 県における Web 調査からの接近」『東北大大学経済学研究科 TERG Discussion Paper』457, 2021 年 12 月.
139. 中村哲也・Steven Lloyd・丸山敦史・増田聰「Hanford Site の浄化とまちづくりに関する意識調査：アメリカ・Washington 州を事例として」『東北大大学経済学研究科 TERG Discussion Paper』459, 2022 年 1 月.
140. 中村哲也・Steven Lloyd・丸山敦史・増田聰「震災 10 年後の福島の復興と再生に関する統計分析」『東北大大学経済学研究科 TERG Discussion Paper』460, 2022 年 1 月.
141. 増田聰「被災地の地域建設業にとっての震災復興（復興の槌音 41）」『信用金庫』76(3), 46-49, 2022 年 3 月.
142. 中嶋紀世生・中村哲也・増田聰「フランスにおける地域コミュニティへの意識と価値観—住民意識調査からの分析」『季刊地理学』74(1), 38-39, 2022 年 4 月.
143. 中村哲也・丸山敦史・増田聰「震災 10 年後の福島の復興と再生に関する統計分析」『季刊地理学』74(1), 46-47, 2022 年 4 月.
144. 増田聰「災害復興、防災型土地利用計画と自治体政策」『ガバナンス』2023 (春), 26-28, 2023 年 3 月.
145. Tetsuya Nakamura, Steven Lloyd, Atsushi Maruyama, Satoru Masuda, "Attitudes towards the release of ALPS water from Fukushima NPP", *Disaster Prevention and Management: Book of Abstracts i-Rec Conference 2023*, 79, 2023 年 6 月.
146. 増田聰「市民セクターからの復興モニタリング」『学術の動向』28(3), 44-46, 2023 年 3 月.
147. 東北支部宮城地域会・みやぎボイス連絡協議会「報告 みやぎボイス 2023：震災復興を 00 年のパースペクティブで考える」『JIA MAGAZINE』418, 20-22, 2024 年 1 月.

III. 調査報告書（共著を含む）

1. 日本電子工業振興協会『昭和 62 年度情報化推進基盤整備（データベース関連調査）・デジタルカートグラフィー調査委員会報告書』1988 年.
2. 近江隆・阿部重憲・増田聰・山崎洋二他『都市計画における市町村マスター・プランの考え方』日本建築学会東北支部, 1994 年 3 月.
3. 増田聰「都市計画の視点からみた防災型土地利用規制の可能性に関する基礎的検討」東北大地理学部

- 『地域開発に伴う環境改変の地理学的研究報告書』81-91 頁, 1994 年 3 月.
4. 小金沢孝昭・増田聰・古城義隆・熊谷公平「パネルディスカッション・仙台の都市機能の未来を探る (93-96 頁)」, 我孫子麟・安藤誠一・仁昌寺正一・小金沢孝昭・井上博夫・増田聰「仙台経済圏の経済発展から見た特性: 仙台経済圏とそれを取りまく諸地域との経済連関 (123-143 頁)」日本学術会議『平成 5 年度・地域学術向上のためのふるさと学会開催事業報告書』, 1994 年 6 月.
 5. 東北大学宮本研究室・増田研究室編『仙台市新総合計画全市民アンケート調査解析』1996 年 3 月.
 6. 日本建築学会東北支部・仙台市編『都心居住問題調査報告書』1996 年 4 月 (分担 増田聰・高橋伸輔「仙台市の都心居住環境とその課題」).
 7. 増田聰「日本の都市づくりにおける官民連携」『仙台・Riverside 都市行政に関する調査』仙台市・リバサイド市 (California), 1997 年.
 8. 東北開発研究センター編『東北における中小都市の中心商店街活性化調査』66-75, 1998 年 3 月.
 9. 増田聰『活断層上の土地利用規制をめぐる都市計画手法に関する基礎的研究: 仙台都市圏の事例』科学研究費補助金 (一般研究 C) 研究成果報告書, 1998 年 3 月.
 10. 増田聰「中国の対外開放政策と地域開発戦略」平野厚生編『山東省煙台地域における市場経済化と地域産業の変容に関する研究』東北大学教養部, 2000 年.
 11. まちづくり政策フォーラム編『首都機能移転報告書』, 2001 年 4 月.
 12. みやぎ建設総合センター編『建設業経営者意識調査分析報告書』, 2002 年 3 月.
 13. 増田聰・東北大学大学院地域計画研究室編『平成 13 年度経営実態調査報告書』, 宮城県情報サービス産業協会, 2002 年 3 月.
 14. まちづくり政策フォーラム編 (鈴木孝男・山田晴義・増田聰)『仙台市土地利用調整システムに関する公開ミーティング報告書』, 2002 年 3 月.
 15. 増田聰『防災型土地利用規制の導入実態とその政策プロセス: 平成 11-13 年度科学研究費補助金研究成果報告書 (基盤研究 (C) (2))』, 83 頁, 2002 年.
 16. 日本建築学会・地震防災総合研究特別研究委員会編『大地震を想定した都市防災・復興方策を考える研究会報告』(分担: 都市防災のための規制・計画・インセンティブ—土地利用調整を事例に—, 29-32 頁), 2002 年 6 月.
 17. 日本建築学会・地震防災総合研究特別研究委員会編『大地震を想定した都市防災・復興方策を考える研究会報告』(分担: 地震災害を軽減化するための土地利用関連施策, 1-54 頁), 2002 年 11 月.
 18. 源栄正人・大野晋・佐藤健編『2003 年 5 月 26 日宮城県沖の地震および 2003 年 7 月 26 日宮城県北部の地震被害調査速報』(分担: 被害概要・生活関連の被害), 日本建築学会東北支部災害調査委員会, 2003 年 9 月.
 19. みやぎ建設総合センター編『21 世紀宮城県建設産業界の課題と展望: 行政・企業・住民の 3 者合意による住民支援型コミュニティ・ビジネスへ』, 21 世紀型地域創成プログラム特別委員会 (共著), 2003 年 12 月.
 20. 増田聰『2003 年宮城県北部の地震の災害過程から見た宮城県内市町村の地域防災計画の現状と課題』『平成 15 年度科学研究費補助金 (特別研究促進費 (1)) 研究成果報告書 (研究代表・源栄正人)』, 139-153 頁, 2004 年.
 21. 国土交通省東北地方整備局編『交流人口の拡大による持続的発展が可能なまちづくり (ケーススタディ調査) 報告書』, 2005 年 3 月.
 22. 増田聰『2.1 地方自治体の広域化に伴う府県の再編』関西社会経済研究所・東北開発研究センター『広域地方政府化とコミュニティの再生に関する研究: 各地域の特性を生かした自治システムの再編』, 23-35 頁, 2005 年 5 月.
 23. 増田聰「地域情報化と都市開発: 地方中枢 4 都市における IT 産業集積地の形成モデル」『科研費基

- 盤（B）（2）：地方中枢都市の発展性を規定するローカリティに関する比較研究報告書（研究代表・日野正輝）』、28頁、2005年5月。
24. 増田聰「地震防災情報の共有化プラットフォームの構築に向けて」『科研費基盤A「大学間連携分散自律型・地理データ基盤システムの開発研究」報告書（研究代表・岡部篤行）』、2005年。
 25. 増田聰『災害リスク下の防災計画と都市計画の策定プロセス：自治体における防災型土地利用規制／計画の展開とその評価』（科学研究費補助金（基盤C）報告書（14580501）、187頁、2006年3月。
 26. みやぎ文化PFI協会・市場化テストIT研究会『行政サービスの高度化・モデル構築の方向：指定管理者制度・市場化テスト・行政のIT化（アンケート報告）』（担当1-13頁）、2007年3月。
 27. 仙台市危機対策課編『仙台市地域防災リーダー養成プログラムに関する検討報告書』、2011年1月。
 28. 佃良彦・増田聰・佐藤美喜子・渡邊壽大『東日本大震災等による医療・保健分野の統計調査の影響に関する高度分析と評価・推計 東日本大震災に係る健康意識調査：単純集計と結果の概要』『東日本大震災等による医療・保健分野の統計調査の影響に関する高度分析と評価・推計 調査報告書（平成24年度）』、東北大学経済学研究科 TERG Discussion Paper No. 295、2013年4月。
 29. 増田聰「4. 時系列でみた各都市・集落の復興計画：4.4.8 宮城県仙台市」『東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会報告書』12頁、2013年4月。
 30. 安田直民編『みやぎボイス2013—地域とずっといっしょに考える復興まちづくり：震災復興シンポジウム2013』日本建築家協会東北支部、2013年6月。
 31. 佃良彦・増田聰・吉田浩「東日本大震災等による医療・保健分野の統計調査の影響に関する高度分析と評価・推計 8. 震災後3年目の健康アンケート調査」『東日本大震災等による医療・保健分野の統計調査の影響に関する高度分析と評価・推計（平成25年度調査報告書）』、2014年。
 32. 佐藤翔輔・今村文彦・増田聰・麦倉哲・会津泉・大橋裕司・松崎大亮『超広域災害における災害対応支援NPOの効果的な連携モデルの構築調査研究成果報告書（平成25年度東北大学災害科学国際研究所・特定プロジェクト研究（連携研究b）』、2014年1月。
 33. ひょうご震災記念21世紀研究機構編『生活復興のための15章：東日本大震災生活復興プロジェクト報告』（担当：「第6章 今の住まい：第3節 今後の仮設住宅」34-35頁、「第7章 恒久住宅への移行：第2節 災害公営住宅の課題にどう対応するか」38-39頁、「第12章 まちづくりの仕組み：第3節 まちづくりをすすめる組織」82-85頁）、2014年3月。
 34. みやぎボイス連絡協議会編『みやぎボイス2014—復興住宅のこえ』日本建築家協会東北支部、2014年8月。
 35. 増田聰「コラム1：震災復興計画の見直し・改定・終了」災害時の生活復興に関する研究会編『生活復興のための12講』、ひょうご震災記念21世紀研究機構研究調査本部、19-21頁、2015年3月。
 36. みやぎボイス連絡協議会編『みやぎボイス2015—復興で橋渡しするもの』日本建築家協会東北支部、2015年9月。
 37. みやぎボイス連絡協議会編『みやぎボイス2017—計画・制度とそこから零れ落ちるもの：東日本大震災復興シンポジウム』2017年12月。
 38. みやぎボイス連絡協議会編『みやぎボイス2018—次の社会の在り方につなげる試み：東日本大震災復興シンポジウム』2019年3月。
 39. みやぎボイス連絡協議会編『みやぎボイス2019—復興の終わりの始め方：東日本大震災復興シンポジウム』2019年10月。
 40. みやぎボイス連絡協議会編『みやぎボイス2020—復興検証の検証を望む声：東日本大震災復興シンポジウム』2021年3月。
 41. （一社）東北圏地域づくりコンソーシアム編『事例集 広域避難者受入支援10年の軌跡：北海道・東北ブロックの取り組みから』、2021年3月。
 42. 宮城県・東北圏地域づくりコンソーシアム・東北まちラボ・宮城県サポートセンター支援事務所（宮城

- 県精神保健福祉士会)・地星社編『令和2年度復興支援活動推進業務成果報告書』, 宮城県, 2021年3月.
43. 日本建築学会東北支部災害調査連絡会編『令和3年2月13日の福島県沖の地震 災害調査速報』(担当: 4.3 生活関連施設の被害の状況 (26-28)), 2021年4月.
 44. みやぎボイス連絡協議会編『みやぎボイス 2021—東日本大震災から 10+1 年目を迎えて, 私たちは何を語ることができるのか: 東日本大震災復興シンポジウム』2021年11月.
 45. 小地沢将之・増田聰・村上早紀子「生活関連の被害」日本建築学会東北支部編『令和4(2022)年3月16日の福島県沖の地震: 災害調査速報』, 27-34, 2022年5月.
 46. みやぎボイス連絡協議会編『みやぎボイス 2022—災害が日常になった今: 東日本大震災復興シンポジウム』2022年11月.
 47. みやぎボイス連絡協議会編『みやぎボイス 2023—震災復興を 100 年のパースペクティブで考える: 東日本大震災復興シンポジウム』2024年3月.

IV. 辞典類・メディア投稿・その他

1. 村山良之・増田聰・梅津洋輔「翻訳と解説 Planning for Development of Land on or Close to Active Faults 活断層上または近傍における土地開発のための計画策定 (ニュージーランド環境省・ニュージーランド地質・核科学研究所編)」『平成17年度文科省防災研究成果普及事業: インセンティブ防災マップづくり資料』, 60頁, 2006年.
2. 増田聰「まちづくりで経済成長・地域産業の復興目指す」『仙台経済界』2011. 7-8月号, 2011年.
3. 増田聰「ゼロサムではない新たな需要が仙台の未来を拓く」『仙台経済界』2011臨時増刊, 4-5頁, 2011年.
4. 増田聰「仙台塩釜港生かし産業集積」『建設通信新聞』14面, 2012年1月30日.
5. 増田聰「復興計画の評価ルールを早急に」『建設通信新聞』「第二部 復興へ」24面, 2012年3月12日.
6. 増田聰「農と食の創造的復興へ用途転換: 仙台塩釜港活かし産業集積」『東日本大震災・復興への道標: 12ヶ月の記録』日刊建設通信新聞社, 234-235頁, 2012年5月31日.
7. 増田聰「仙台の都市像: 本来のまちづくりへ早期シフト」『仙台経済界2013臨時増刊号・仙台圏の不動産情報』12頁, 2013年2月.
8. 増田聰「東日本大震災から4年(上): 復興事業, 整合性乏しく」『日経経済教室』, 2015年3月2日.
9. Satoru Masuda “Two years after tsunami, Japan’s small business owners stuck in limbo”, *Christian Science Monitor*, 2013年3月11日.
10. 地域イノベーション研究センター・震災復興研究センター編「東日本大震災4年復興よ, どこへ行く: 年々深刻化する人手不足 建設特需が復興の足かせに」『週刊ダイヤmond』103(3月14日), 112-117頁, 2015年3月14日.
11. 増田聰「今を読み解く: 被災地, 地方創生のモデルへ: 政策に研究成果の還元を」『日本経済新聞』, 2015年7月11日.
12. 増田聰「大震災から5年 復興への課題(下): 産業再生・革新促す支援を 資金面の「特権」終了へ」『日経経済教室』, 2016年3月4日.
13. 増田聰「書評: 破壊のあとの都市空間—ポスト・カタストロフィーの記憶 (熊谷謙介編著, 青弓社)」, 神戸新聞・新潟新聞・宮崎日日新聞・東奥日報・沖縄タイムスほか, 2017年5月.
14. 伊藤守・小泉秀樹・三本松政之・似田貝香門・橋本和孝・長谷部弘・日高昭夫・吉原直樹編『コミュニティ事典』(担当: コミュニタリアンの射程), 春風社, 2017年6月.
15. 増田聰「地方創生で人口減少に歯止め: 小さな地域に暮らしの拠点をつくる」建設通信新聞『暑中企画』, 8-9, 2017年6月30日.
16. 増田聰「北海道地震の教訓(下) 復興の枠組み検討の契機に」『日経経済教室』, 2018年10月15日.

17. 菅野宏史・増田聰・村山耕二「鼎談・菅野宏史建築設計代表作品選集」『日刊建設産業新聞』, 2019年8月30日.
18. 増田聰「人命を最優先に、保険などソフト面での防災を（災害列島・2019年台風19号の爪痕深く）」『仙台経済界2020下期臨時増刊号・仙台圏の不動産情報』, 24-25頁, 2020年7月.
19. 日本学術会議第24期提言『気候変動に伴い激甚化する災害に対しグリーンインフラを活用した国土形成により“いのちまち”を創る』, 環境学委員会・都市と自然と環境分科会, 2020年8月.
20. 日本学術会議第24期提言『国土構造の将来像を踏まえた第2期地方創生施策の実施に向けて』, 地域研究委員会・人文経済地理学分科会, 2020年9月.
21. 日本学術会議第24期提言『社会的モニタリングとアーカイブ—復興過程の検証と再帰的ガバナンス』, 社会学委員会・東日本大震災後の社会的モニタリングと復興の課題検討分科会, 2020年9月.
22. 横浜国立大学都市科学部編『都市科学事典』(担当: 8-4-4: 共同体主義とコミュニティ, 10-3-2: ルイス・マンフォードと田園都市), 春風社, 2021年3月.
23. 増田聰「東日本大震災の10年: 復興の過程俯瞰的に検証を」『日経経済教室』, 2021年3月5日.
24. 増田聰「東日本大震災から学ぶ: 企業に求められる『強靭化』」『日本物流新聞』1475, 20, 2021年3月11日.
25. 増田聰「被災地の現在: これからの姿をどう描き実現していくか」建設新聞『東日本大震災から10年・東北の復興・創生特集』臨増15, 2021年3月11日.
26. 増田聰「大震災の教訓未来に: 情報技術・AIで防災」『日本経済新聞』, 2023年1月14日.
27. 日本学術会議第25期見解『コロナ禍を踏まえた新たな国土形成計画の実施に向けて』, 地域研究委員会・人文経済地理学分科会, 2023年9月.
28. 日本学術会議第25期報告『東日本大震災の復興をめぐる社会的モニタリングの方法と課題～あるべき復興ガバナンスの姿を問う～』, 社会学委員会・災害復興知の再審と社会的モニタリングの方針検討分科会, 2023年9月.
29. 日本学術会議第25期見解『「地理総合」の充実と小学校から大学までの一貫した地理教育の構築に向けて—持続可能な社会の実現を目指して—』, 地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会, 2023年9月.

V. 学会報告・シンポジウム・セミナー

1. 増田聰「クラスター法による首都圏内地方中心都市の従業者分布構造の分析」日本都市計画学会学術研究発表会, 筑波大学, 1983年10月.
2. 増田聰「都市内従業者の2次元分布構造の定性的分析: グラフ論的曲面分析法による人口分布構造との比較検討」日本都市計画学会学術研究発表会, 東京都立大, 1991年10月.
3. 二瓶正・橋本修左・増田聰「制御室環境評価手法に関する研究(1): 環境チェックリストの開発」日本人間工学会第32回大会, 日本大学生産工学部(習志野市), 1991年6月.
4. 橋本修左・二瓶正・増田聰「制御室環境評価手法に関する研究(2): 環境可変実験」日本人間工学会第32回大会, 日本大学生産工学部(習志野市), 1991年6月.
5. 増田聰「大学一般教育における都市・地域計画教育の可能性: 学生による地域調査の実践を通じて」東北地理学会春季大会, 仙台市戦災復興記念館, 1993年5月.
6. 坂田慎二・増田聰・稻村肇「土地区画整理事業の展開に伴う住民参加の実証的研究: 仙台駅東土地区画整理事業への住民反応を例に」土木学会東北支部技術研究発表会, 東北大学工学部, 1994年3月.
7. 村山文人・増田聰・稻村肇「仙台都市圏における土地利用実態の解析」土木学会東北支部技術研究発表会, 東北大学工学部, 1994年3月.
8. 坂田慎二・増田聰・稻村肇「来街者行動からみた都心範囲の確定と行動特性の把握」第17回土土

- 木計画学研究発表会, 宇都宮市, 1995年1月.
- 9. 村山文人・増田聰・稻村肇「仙台市商業地域における土地利用と用途地域の関連」第17回土木計画学研究発表会, 宇都宮市, 1995年1月.
 - 10. 坂田慎二・増田聰・稻村肇「仙台市における都心機能集積実態の定性分析: 都心域の確定問題をめぐって」土木学会東北支部技術研究発表会, 1995年3月.
 - 11. 高橋伸輔・増田聰・稻村肇「世帯属性からみた仙台市における都心居住者の居住地選好に関する研究」土木学会東北支部技術研究発表会, 1995年3月.
 - 12. 村山文人・増田聰・稻村肇「土地利用コントロールと都市構造の関連性の分析」土木学会東北支部技術研究発表会, 1995年3月.
 - 13. 村山良之・増田聰・福井巧・川口裕輔「宅造地の人工的地形改変と地震被害: 神戸市垂水区の事例」日本地理学会1995年度秋季学術大会, 岡山大学, 1995年10月.
 - 14. 高橋伸輔・増田聰・稻村肇「国勢調査に基づく都市内の居住特性解析」第18回土木計画学研究発表会, 1996年1月.
 - 15. 増田聰・村山良之「活断層沿いの土地利用規制をめぐる問題点」東北地理学会春季学術大会, 仙台市戦災復興記念館, 1996年5月.
 - 16. 若井亮太・増田聰・稻村肇「地震時におけるライフラインの信頼性: 仙台市の上水道システムを事例として」土木学会東北支部技術研究発表会, 1996年3月.
 - 17. 高橋伸輔・増田聰・稻村肇「都市型居住を視野に入れた仙台市の都心及びその周辺部の現状と課題」土木学会東北支部技術研究発表会, 1996年3月.
 - 18. 青木俊明・稻村肇・増田聰「国勢統計区単位でみた都市内の世帯構成の変化」第19回土木計画学研究発表会, 1997年1月.
 - 19. 増田聰「日本の都市づくりにおける官民連携」仙台都市総研: 仙台・Riverside 都市行政に関する調査, Riverside 市 California 州, 1997年1月31日.
 - 20. 若井亮太・増田聰・坂田慎二・稻村肇「都心部における機能集積とその評価」第19回土木計画学研究発表会, 1997年1月.
 - 21. 若井亮太・増田聰・稻村肇「仙台市における副都心の必要性に関する一考察」土木学会東北支部技術研究発表会, 1997年3月.
 - 22. 吉田直哉・増田聰・稻村肇「用途地域・容積率指定に着目した土地利用変化分析」土木学会東北支部技術研究発表会, 1997年3月.
 - 23. 鈴木温・増田聰・稻村肇「防災型土地利用計画に関わる住民意識構造の分析」土木学会東北支部技術研究発表会, 1997年3月.
 - 24. 増田聰・鈴木温・村山良之「住民意識から見た防災型土地利用規制の社会的受容可能性」日本地理学会1997年度秋季学術大会(都市災害研究), 東京都立大, 1997年10月.
 - 25. 青木俊明・稻村肇・増田聰「小地区単位における都市の居住特性の将来予測」第20回土木計画学研究発表会, 1998年1月.
 - 26. 増田聰・村山良之「防災型土地利用規制の受容可能性: 仙台市住民の意識調査の結果を中心に」日本地理学会1998年度秋季学術大会, 北海道大学, 1998年9月.
 - 27. 増田聰・村山良之「活断層沿いの土地利用規制について考える」日本地形学連合1998年度秋季大会シンポジウム「近年の自然災害とその背景」, 奈良女子大学, 1998年10月(基調講演).
 - 28. 増田聰・村山良之「防災型土地利用規制の社会的受容・実施に関わるアジェンダ形成の検討: 活断層研究者らの提言と長町利府線を有する仙台市住民の意識調査を踏まえて」1998年度日本都市計画学会学術研究発表会, 東北芸術工科大学, 1998年11月.
 - 29. 増田聰「仙台市における土地利用転換について」東北都市学会研究例会 colloque, 1999年6月25日.

30. 増田聰・村山良之「地域防災計画等の改訂と防災型土地利用規制：仙台市の場合」日本地理学会 1999 年度秋季学術大会, 四国大学, 1999 年 10 月.
31. 増田聰「首都機能移転の議論が明らかにしたこと」2000 年度首都機能移転セミナー, 福島県企画調整室, 2000 年.
32. 増田聰・路峰「中国経済開発区へ進出する外資系デベロッパーの活動：山東省煙台経済技術開発区に立地する『煙台聯合發展有限公司』の事例」東北地理学会春季学術大会, 仙台市戦災復興記念館, 2000 年 5 月.
33. Satoru Masuda, Yoshiyuki Murayama "Land Use Planning for Hazard Mitigation in Japan", 29th International Geographical Congress, Seoul, Korea, 2000 年 8 月 17 日.
34. 増田聰「都市再生への展望と課題」2001 年度東北大学教育学研究科・大学教育開放センター講座, 2001 年.
35. 高田篤・増田聰「宮城県仙台市における市民活動・NPO 支援の現状と課題について：仙台市市民活動サポートセンター設立までの経緯を中心に」日本 NPO 学会第 3 回年次大会, 京都市, 2001 年 3 月.
36. 村山良之・増田聰「災害関連情報の公開と都市計画策定過程における利用」日本地理学会 2001 年度春季学術大会, 敬愛大学(千葉県佐倉市), 2001 年 3 月.
37. 増田聰「地域社会基盤としての GIS の可能性」東北 GIS 研究会(地理情報システム学会・国土地理院), 山形市, 2001 年 6 月.
38. 増田聰・村山良之「自治体における防災型土地利用規制(土地利用計画)の導入例」日本地理学会 2001 年度秋季学術大会, 秋田大学教育文化学部, 2001 年 9 月.
39. 増田聰「都市防災のための規制・計画・インセンティブ：土地利用調整を事例に」東北大学災害制御センター公開シンポジウム『専門領域を横断した地震防災のためのコラボレーション』, 東北大学(仙台市), 2002 年 6 月 8 日(基調講演).
40. 鈴木孝男・山田晴義・増田聰「制度設計のための市民参加型ロールプレイの可能性：仙台市土地利用調整システムに関わる公開ミーティングを事例に」日本建築学会全国大会(農村計画・教育), 金沢大学, 2002 年 8 月 2 日.
41. 増田聰・村山良之「カリフォルニア州における地震災害地図化プログラムの発足と展開」日本地理学会秋季学術大会, 金沢大学, 2002 年 9 月 27 日.
42. 増田聰「GIS の利用方法：コミュニケーション・ツールとしての GIS の可能性」全国国土調査協会 平成 14 年度第 1 回 GIS 利活用研修会(東北地方), 郡山市民プラザ・ビッグアイ, 2002 年 9 月 19 日(基調講演).
43. 増田聰「基調報告・GIS と地域づくり：コミュニケーション・ツールとしての GIS の可能性」東北地理学会秋季学術大会, 弘前大学, 2002 年 10 月 12 日.
44. 増田聰「地震災害を軽減化するための土地利用関連施策」日本建築学会大地震を想定した都市防災・復興方策を考える研究会, 建築会館(三田), 2002 年 11 月 1 日.
45. 増田聰「地震災害を軽減するための土地利用コントロール」日本建築学会・地震防災総合研究特別研究委員会『危険情報の開示と地震災害の軽減』, 神戸国際展示場, 2003 年 1 月 31 日(基調講演).
46. 増田聰・村山良之・馬場美智子「ニュージーランドウェリントン県における活断層上の土地利用規制」東北地理学会春季学術大会, 仙台市戦災復興記念館, 2003 年 5 月 17 日.
47. 増田聰「被害概要」2003 年 5 月 26 日宮城県沖の地震災害被害速報会, 仙台国際センター, 2003 年 7 月 5 日(同報告書 14-17 頁).
48. 増田聰・須田輝夫・友田昇・大島邦彦・川村巖「PFI 手法による石巻広域圏の地域づくり」第 1 回 地域活性 PFI フォーラム(みやぎ文化 PFI 協会), 2003 年 7 月 8 日.
49. 増田聰「生活関連の被害」2003 年 7 月 26 日宮城県沖の地震災害被害速報会, 宮城県庁講堂(仙台市), 2003 年 8 月 31 日(同報告書 90-97 頁).

50. 増田聰「生活関連の被害」日本建築学会全国大会・2003年5月26日宮城県沖の地震と7月26日宮城県沖の地震災害被害速報会, 中部大学(名古屋), 2003年9月7日.
51. 村山良之・平野信一・松本秀明・増田聰・佐藤健・源栄正人・柴山明寛「2003年7月26日宮城県北部の地震による被害: 建物被害分布とその特徴」東北地理学会秋季学術大会, 北海道教育大旭川校, 2003年9月29日.
52. 平野信一・松本秀明・村山良之・増田聰「2003年7月26日宮城県北部の地震による被害: 旭山丘陵周辺の地盤変状と建物被害」東北地理学会秋季学術大会, 北海道教育大旭川校, 2003年9月29日.
53. 平野信一・松本秀明・村山良之・増田聰「2003年7月26日宮城県北部の地震による旭山撓曲周辺の地盤変状と被害」日本地震学会秋季大会・緊急セッション, 国立京都国際会館アネックスホール, 2003年10月8日.
54. 柴山明寛・大田俊一郎・平野信一・松本秀明・村山良之・佐藤健・源栄正人「2003年7月26日宮城県北部の地震の建物被害速報(1)(2)」日本地震学会秋季大会・緊急セッション, 国立京都国際会館アネックスホール, 2003年10月8日.
55. 村山良之・増田聰・馬場美智子「ニュージーランドにおける防災型土地利用規制: 活断層上の土地利用規制の実例より」日本地理学会秋季学術大会, 岡山大学, 2003年10月12日.
56. 村山良之・平野信一・松本秀明・増田聰・佐藤健・源栄正人・柴山明寛「2003年7月26日宮城県北部の地震による旭山丘陵周辺の地盤変状と建物被害」日本地理学会秋季学術大会(災害緊急報告ポスターセッション), 岡山大学, 2003年10月12日.
57. 村山良之・平野信一・松本秀明・増田聰・佐藤健・源栄正人・柴山明寛「2003年7月26日宮城県北部の地震による建物被害分布の特徴」日本地理学会秋季学術大会(災害緊急報告ポスターセッション), 岡山大学, 2003年10月12日.
58. 柴山明寛・平野信一・松本秀明・村山良之・増田聰・佐藤健・源栄正人「2003年7月26日宮城県北部の地震の建物被害速報: 被害調査データのデータベース化及び視覚化, GISを利用した調査時間の算出方法について」地理情報システム学会第12回研究発表大会, 工学院大学(東京都新宿区), 2003年10月22日.
59. 馬場美智子・増田聰・村山良之「災害リスクマネジメント概念を導入した土地利用規制に関する考察」地域安全学会研究発表会, 静岡県地震防災センター, 2003年11月7日.
60. 柴山明寛・久田嘉章・佐藤健・源栄正人・増田聰「2003年7月26日宮城県北部の地震における木造建物の地域別被害分布」地震工学会年次大会, 慶應大学理工学部・矢上キャンパス, 2003年11月11日.
61. 村山良之・柴山明寛・佐藤健・増田聰・松本秀明・平野信一・寺木彰浩・坂田知彦「地震建物被害調査方法の提案: 2003年宮城県北部の地震の経験より」平成15年度東北地域自然災害科学研究集会, 秋田大学工学資源学部, 2003年12月27日.
62. 柴山明寛・久田嘉章・佐藤健・源栄正人・増田聰「2003年7月26日宮城県北部の地震における建物被害調査: 建物破壊パターン分類を用いた調査者による判定結果の比較」平成15年度東北地域自然災害科学研究集会, 秋田大学工学資源学部, 2003年12月27日.
63. 柴山明寛・佐藤哲也・久田嘉章・佐藤健・源栄正人・増田聰「2003年7月26日宮城県北部の地震における応急危険度判定と建物被害調査との比較」平成15年度東北地域自然災害科学研究集会, 秋田大学工学資源学部, 2003年12月27日.
64. 平野信一・松本秀明・村山良之・増田聰「2003年宮城県北部の地震による旭山丘陵の地盤変状と被害」平成15年度東北地域自然災害科学研究集会, 秋田大学工学資源学部, 2003年12月27日.
65. 増田聰「宮城県内市町村の地域防災計画の現状と課題」自然災害研究協議会・地震予知研究協議会・2003年宮城県北部地震シンポジウム, ハーネル仙台(仙台市), 2004年1月31日(基調講演).
66. 平野信一・松本秀明・村山良之・増田聰「2003年宮城県北部の地震による旭山丘陵および周辺の地盤変状と被害」2003年度構造地質研究会春の例会, 2004年3月.
67. 増田聰「PFI手法による地域づくり」PFIフォーラム in あおもり(みやぎ文化PFI協会), 2004年3月13日.

68. 増田聰「地域防災計画とハザードマップ：コミュニティ防災計画へ」第3回東北大学災害制御研究センター公開講座：ハザードマップの最先端と地域防災力の現状と課題、東北大学災害制御研究センター・地理情報システム学会、2004年6月5日。
69. 増田聰「2003年7月26日宮城県北部の地震発災後の建物被害調査とGISによる解析」空間情報シンポジウム2004、仙台、2004年7月6日（基調講演）。
70. 増田聰「地域づくり部会平成16年度活動計画」文部科学省防災研究成果普及事業キックオフミーティング、仙台市、2004年8月10日。
71. 増田聰・柴山明寛・佐藤健・村山良之・源栄正人・佐藤哲也・柴山明寛・久田嘉章「2003年7月26日宮城県北部の地震災害調査研究：悉皆調査（その1~4）」日本建築学会全国大会、北海道大学、2004年8月31日。
72. 佐藤健・源栄正人・柴山明寛・増田聰「2003年7月26日宮城県北部の地震における家具の転倒被害と転倒防止対策の変化」第23回日本自然災害学会学術講演会、富士常葉大学、2004年9月14日。
73. 柴山明寛・佐藤健・村山良之・増田聰・源栄正人・久田嘉章「2003年7月26日宮城県北部の地震における復旧復興調査」第23回日本自然災害学会学術講演会、富士常葉大、2004年9月14日。
74. 増田聰・村山良之「宮城県における2003年の地震経験と製造業の地震対策・リスク管理」日本地理学会秋季学術大会、広島大学、2004年9月25日。
75. 柴山明寛・村山良之・増田聰・佐藤健「GISを用いた地震被害調査時間の算出方法および被害情報の表示方法について」地理情報システム学会研究発表大会、工学院大学、2004年10月5日。
76. 鈴木誠太郎・柴山明寛・佐藤健・村山良之・平野信一・松本秀明・増田聰・久田嘉章・源栄正人「2003年7月26日宮城県北部の地震における建物被害に関する追加調査および復旧復興調査（その1,2）」日本地震学会秋季大会、九州大学箱崎キャンパス（福岡市）、2004年10月9日。
77. 増田聰「新市建設設計画を読む：石巻市・大崎市・栗原市・登米市の事例」東北学院大・東北産業経済研究所シンポジウム「地域づくりと市町村合併」、仙台市、2004年10月28日。
78. 柴山明寛・佐藤哲也・佐藤健・源栄正人・増田聰・久田嘉章・寺木彰浩「2003年7月26日宮城県北部地震における応急危険判定からみた木造建築物の地域別被害要因について」地域安全学会研究発表会、静岡県地震防災センター（静岡市）、2004年11月6日。
79. 馬場美智子・増田聰・村山良之・牧紀男「ニュージーランドの防災型土地利用規制に関する考察：地方分権と資源管理型環境政策への転換との関わりを踏まえて」日本都市計画学会学術研究論文発表会、吳国際大学、2004年11月13日。
80. 佐藤健・源栄正人・柴山明寛・増田聰「2003年7月26日宮城県北部の地震における家具の転倒被害率と事後対策率との関係」日本地震工学会大会、早稲田大学国際会議場、2005年1月12日。
81. 増田聰「地域コミュニティが主体となった地域防災力高度化戦略を考える」宮城県沖地震対策研究協議会：定例宮城県沖地震シンポジウム（第3回）、仙台市国際センター、2005年3月19日。
82. 村山良之・増田聰・梅津洋輔「ニュージーランドの活断層上と近傍の開発計画指針：Guideline for Planning for Development of Land on or Close to Active Faults in NZ」日本地理学会春季学術大会、青山学院大学、2005年3月29日。
83. 増田聰・鈴木孝男「タウンミーティング型ワークショップに関する調査結果の報告」日本地域ガバナンス学会コラボサミット、宮城大学、2005年7月10日。
84. 梅津洋輔・里村亮・増田聰「被害予測を中心とする災害情報の公開と活用」東北地理学会秋季学術大会、東北公益文科大学（酒田市）、2005年10月8日。
85. アクセル・リヒター・増田聰「Economic Analysis of Local and Central Funding of Education：中央政府および地方政府による教育財源の経済学的分析」日本都市学会第52回大会、岩手教育会館（盛岡市）、2005年10月14日。
86. 近岡綾子・増田聰・吉田奈々子「高齢者通所介護施設の整備に関する研究：宮城県における立地・

- 建物調査を通じて」日本都市学会第 52 回大会, 岩手教育会館 (盛岡市), 2005 年 10 月 14 日.
87. 増田聰「地域防災力高度化・インセンティブ防災マップづくり WG 報告」文部科学省防災研究成果普及事業プログレスミーティング, 仙台市交際センター, 2005 年 10 月 24 日.
 88. 佐藤健・増田聰・村山良之・源栄正人「住民アンケート調査に基づいた宮城県域における地震防災対策の現状分析」第 24 回自然災害学会学術講演会, 仙台市・メディアパーク, 2005 年 11 月 17 日.
 89. 増田聰「パネルディスカッション：宮城県沖地震対策の現状と課題」第 24 回日本自然災害学会学術講演会, 仙台市, 2005 年 11 月 19 日.
 90. 馬場美智子・増田聰・村山良之「土地利用規制による地震被害軽減の方法に関する考察」日本地震工学会大会 2005, 京大会館, 2005 年 11 月 23 日.
 91. 芦立千佳子・増田聰「仙台市定禅寺通りのまちづくり活動」日本建築学会都市計画委員会「時代をリードしたまちづくりその後」, 千里ライフサイエンスセンタービル (大阪市), 2005 年 12 月 10 日.
 92. 増田聰「災害に強いまちづくり：地域社会の仕組みを強める」東北文化学園大学・特別講義, 2006 年 1 月.
 93. 増田聰「地震リスク・コミュニケーションからコミュニティ防災計画へ」宮城の防災を考えるシンポジウム, 宮城大, 2006 年 2 月 4 日.
 94. 増田聰「市民フォーラム：災害に強いコミュニティ」. 第 11 回日本集団災害医学会総会, 仙台市国際センター, 2006 年 2 月 11 日.
 95. 増田聰・村山良之・梅津洋輔・近藤誠司「日本の市町村都市計画における活断層情報の利用」日本地理学会秋季学術大会, 静岡大学花松キャンパス, 2006 年 9 月 23 日.
 96. 野々山和宏・増田聰「国土形成計画法の検討経緯における『海洋・沿岸域』のアジェンダ化」東北地理学会秋季学術大会, 新潟国際情報大学新潟中央キャンパス, 2006 年 10 月 7 日.
 97. 佐藤健・増田聰・村山良之・柴山明寛・源栄正人「想定宮城県沖地震に対する地震リスクの地域格差と地域防災力」日本自然災害学会学術講演会, 桐生商工会議所, 2006 年 11 月 13 日.
 98. 増田聰「英國・農村地域における Community Transport 事業」第 2 回宮城大学地域連携シンポジウム：地域産業振興における大学と地域連携の可能性, 宮城大学地域連携センター・日本地域ガバナンス学会, 2006 年 12 月 2 日.
 99. 増田聰・村山良之・佐藤健・柴山明寛・塚原光・長田正樹・若林亮「地震リスクコミュニケーションに基づいた地域防災力高度化戦略プログラム（その 1）全体概要」平成 18 年度東北地域災害科学研究集会, 岩手大学工学部, 2007 年 1 月 13 日.
 100. 佐藤健・柴山明寛・増田聰・村山良之・長田正樹・若林亮「地震リスクコミュニケーションに基づいた地域防災力高度化戦略プログラム（その 2）コミュニティのための地域防災力評価」平成 18 年度東北地域災害科学研究集会, 岩手大学工学部, 2007 年 1 月 13 日.
 101. 村山良之・増田聰・佐藤健・柴山明寛・長田正樹・中尾邦彦・大田俊一郎・里村亮・川村宇史「地震リスクコミュニケーションに基づいた地域防災力高度化戦略プログラム（その 3）町内会防災ワークショップ」平成 18 年度東北地域災害科学研究集会, 岩手大学工学部, 2007 年 1 月 13 日.
 102. 柴山明寛・佐藤健・小野清・菅原清悦・園部英俊・増田聰「コミュニティー緊急事態対応チーム CERT の宮城モデルに関する研究」平成 18 年度東北地域災害科学研究集会, 岩手大学工学部, 2007 年 1 月 13 日.
 103. 増田聰「防災研究成果普及事業の成果と今後の展開：特別報告」定例宮城県沖地震シンポジウム（第 5 回）, エル・パーク仙台ギャラリーホール, 2007 年 3 月 10 日.
 104. 増田聰「リスク・コミュニケーションからコミュニティ（防災）計画へ」利府町安全で安心にくらせるまちづくり研修会, 2007 年 3 月 24 日.
 105. 村山良之・増田聰「ニュージーランドの『活断層指針』とその意義」日本地球惑星科学連合 2007 年大会, 幕張メッセ, 2007 年 5 月 23 日.

106. 柴山明寛・長田正樹・堀伸三郎・奥野哲朗・増田聰・佐藤健・源栄正人「宮城県沖地震に備えた防災情報共有プラットフォームの開発 (Development of Disaster Prevention Information Sharing Platform System)」地域安全学会大会, 静岡県地震防災センター, 2007年11月10日.
107. 柴山明寛・長田正樹・増田聰・佐藤健・堀伸三郎・奥野哲朗「宮城県沖地震を対象とした地域防災力評価手法に関する研究」東北地域災害科学研究集会, 八戸地域地場産業振興センターユートリー, 2008年1月13日.
108. 塩田哲生・佐藤健・増田聰・村山良之・柴山明寛・源栄正人「想定宮城県沖地震を対象とした地域防災力評価手法に関する研究」東北地域災害科学研究集会, 八戸地域地場産業振興センターユートリー, 2008年1月13日.
109. 佐藤健・塩田哲生・増田聰・村山良之・柴山明寛・源栄正人「仙台市における自主防災組織の地震災害対応力調査」東北地域災害科学研究集会, 八戸地域地場産業振興センターユートリー, 2008年1月13日.
110. 庄子真岐・孫明希・増田聰「文化を基盤とした地域発展戦略と観光に関する研究: 光州広域市の文化都市づくり事業を事例として」第23回日本観光研究学会全国大会, 長野大学, 2008年11月22日.
111. 萩原駿也・佐藤健・増田聰・村山良之・柴山明寛・源栄正人「想定宮城県沖地震を対象とした地域防災力の都市間格差に関する研究」東北地域災害科学研究集会, 秋田大学工学資源学部, 2009年1月11日.
112. 増田聰「活断層を考慮したまちづくりの現状と課題」日本建築センターシンポジウム「活断層の情報を建築設計やまちづくりにどう活かすか」, 住宅金融支援機構すまい・るホール, 2009年6月18日 (基調講演).
113. 増田聰「中心市街地の再生とまちづくりの担い手」日本建築学会シンポジウム「東北地域でコミュニティアーキテクトを語る: 持続可能なまちづくりとその担い手像」, 仙台市市民活動サポートセンター, 2009年8月25日 (基調講演).
114. 増田聰「東北地方におけるPFI事業の展開」東北都市学会秋季学術大会, 弘前大学農学生命科学部, 2009年10月3日.
115. Maki Shoji and Satoru Masuda "Relationship between national government and local administration in the process of planning and implementation of culture-based regional development: a case study of Hub City of Asian Culture as a national project in Kwangju, South Korea" The 9th Asia-Pacific Complex Systems Conference, 中央大学駿河台記念館, 2009年11月6日.
116. 塩田哲生・佐藤健・柴山明寛・増田聰・村山良之・源栄正人「宮城県内4市における自主防災組織の地震災害対応力評価とその地域特性」日本地震工学会・大会2009, 国立オリンピック記念青少年総合センター, 2009年11月13日.
117. 塩田哲生・江副麻美子・佐藤健・柴山明寛・増田聰・村山良之「宮城県内における自主防災組織の地震災害対応力評価 (その1 地震災害対応力の特性分析)」, 平成21年度自然災害科学東北地区部会, 山形大学, 2010年1月10日.
118. 江副麻美子・塩田哲生・佐藤健・柴山明寛・増田聰・村山良之「宮城県内における自主防災組織の地震災害対応力評価 (その2 被災経験の有無による地域間格差)」, 平成21年度自然災害科学東北地区部会, 山形大学, 2010年1月10日.
119. 増田聰・村山良之「ニュージーランドにおける防災型土地利用規制の拡大: 土砂災害指針の策定と運用」2010年度東北地理学会春季学術大会, 仙台市戦災復興記念館, 2010年5月16日.
120. 増田聰・村山良之「ニュージーランドにおける防災型土地利用規制の進展」日本地球惑星連合2010年大会, 幕張メッセ, 2010年5月23日.
121. 増田聰「防災に関する土地利用規制政策の我が国の現状」内閣府「持続可能な防災・減災政策体系のあり方に関する研究会」, 内閣府・経済社会総合研究所, 2010年8月9日 (基調講演).
122. 増田聰「仙台市総合計画まちづくりCaféファシリテータ」仙台市総合計画審議会, 2010年8月28日.
123. 佐藤健・長尾資・増田聰・源栄正人「自主防災組織の災害対応力と災害時行動との関係」第29回

- 日本自然災害学会学術講演会, 岐阜大学工学部, 2010年9月17日.
124. 増田聰「自治体による防災型土地利用計画の展開」東北地理学会・北海道地理学会秋季学術大会, 北海学園大学豊平キャンパス, 2010年9月18日.
125. 増田聰・村山良之「ニュージーランドにおける防災型土地利用規制の新展開: 斜面災害指針の提案」2010年日本地理学会秋季学術大会, 名古屋大学, 2010年10月2日.
126. 増田聰「防災型土地利用計画の進展: 1999/2009年度自治体調査から」日本都市学会第57回大会, 高崎経済大学, 2010年10月24日.
127. 増田聰「防災型土地利用の規制に関する海外の事例」防災科学技術研究所・災害リスク情報を活用した土地利用制度等における災害リスク政策の形成手法に関する研究会, 價値総研(東京都港区三田), 2010年10月28日(基調講演).
128. 佐藤健・柴山明寛・増田聰・源栄正人「災害安全教育支援のための防災情報共有プラットフォームの開発」第13回日本地震工学シンポジウム, つくば国際会議場, 2010年11月19日.
129. 増田聰「防災型土地利用規制(計画)」防災都市計画研究所・首都圏での地盤災害と土地利用規制のあり方研究会, 東京都千代田区, 2011年2月28日.
130. 増田聰「社会経済的被害と地域再生」東北大震災研究拠点東日本大震災一ヶ月後緊急報告会, トラストシティ・カンファレンス仙台, 2011年4月14日.
131. 増田聰「被災地支援施策の視点から」東北まちづくりオフサイトミーティング, 仙台市, 2011年4月23日.
132. 増田聰・情報支援プロボノ・プラットフォーム「情報支援プロボノ・プラットフォーム(iSPP)の活動」東北地理学会春季学術大会ポスターセッション: 東日本大震災とNPO活動, 東北大震災研究拠点平さくらホール, 2011年5月13~14日.
133. 細野助博・長峯純一・永松伸吾・増田聰・(司会) 松原聰「学会連携・震災対応プロジェクト 特別セッション『減災と復興の公共政策』」日本公共政策学会2011年度研究大会, 北海学園大学豊平キャンパス(札幌), 2011年6月18日.
134. 増田聰「宮城の問題点と課題」日本地方財政学会・震災復興シンポジウム, 岩手大学工学部・テクノホール, 2011年9月10日.
135. 増田聰「東北復興シナリオプランニングと復興過程のモニタリング」地域産業復興調査研究シンポジウム「東日本大震災からの地域産業復興への提言: 被災地の大学として何を学び, 伝え, 創るのか」, 東北大震災研究拠点東日本大震災復興研究センター・(財) 経和会記念財団, 東北大震災研究拠点, 2011年10月1日.
136. 増田聰「名取市/仙台市等の事例から」東北支部学術合同調査委員会(土木計画・都市計画・建築部門)研究会, 東北大震災研究拠点, 2011年10月5日.
137. 増田聰「復興(都市)計画の課題: 土地利用と産業再生」東北地理学会2011年度秋季大会・公開シンポジウム「東日本大震災からの復興に向けて—地理学からの提言—」, 仙台市戦災復興記念館, 2011年10月9日.
138. 増田聰「東日本大震災からの復興プロセスの不確実性と『起こりうる未来』—シナリオ・プランニング: 2021年, 東北経済はどのように復興を遂げているか?」日本都市学会第58回大会, コラッセふくしま, 2011年11月5日.
139. まちづくり政策フォーラム・交通を考える研究会「(ポスター展示) 上手に使おう公共交通, 震災を経験した仙台から—クルマ中心の暮らしを見直していくよ」環境フォーラムせんだい2011・第8回未来づくりESDセミナー「環境”～震災で見えてきたこと～」, せんだいメディアテーク・オープンスクエア, 2012年2月5日.
140. 増田聰「東日本大震災からの復興と『起こりうる未来』」日本建築学会シンポジウム「東日本大震災からの教訓, これからの新しい国つくり」, 2012年3月2日(基調講演).
141. 増田聰「東北経済復興のシナリオ」東北大震災研究拠点東北フォーラム第3分科会「東アジアにおける産業復興と防災協力: 大震災

- と大洪水に学ぶ」、東北大学（仙台市）、2012年3月30日。
142. 増田聰「津波リスクの評価と土地利用規制：仙台市東部地域・名取市閑上地区におけるリスク・コミュニケーション上の課題」東北地理学会2012年度春季学術大会、仙台市戦災復興記念館、2012年5月27日。
143. 増田聰「ゼロ・エネルギー・スクール中心の街づくり（パネルディスカッション・コーディネーター）」みやぎ建設総合センター・低炭素社会構築モデル事業シンポジウム（東北大学大学院環境科学研究所・経済学研究科共催）、東北大学百周年記念会館萩ホール、2012年7月12日。
144. 増田聰「低頻度巨大災害に対する国民の政策選好に関する調査報告・討論」経済社会総合研究所・ESRIセミナー、内閣府419会議室、2012年8月22日。
145. Satoru Masuda “Lessons from Tohoku Earthquake on Risk Management and Risk Communication” UK-Japan Joint Workshop : Disaster Risk Reduction –Learning from the 2011 Great East Japan Earthquake, 英国大使館（東京）、2012年10月5日。
146. 増田聰・村山良之「丘陵地等の造成地における地震災害と復興に関する課題：1995阪神・淡路大震災と2012東日本大震災」2012年度日本地理学会秋季学術大会、神戸大学鶴甲第一キャンパス、2012年10月7日。
147. 石動志乃夫・磯田弦・増田聰・関根良平「東日本大震災による商業地の被害と復興：岩手県宮古市中心商業地の事例—被災地再建研究グループによる研究」2012年度日本地理学会秋季学術大会、神戸大学鶴甲第一キャンパス、2012年10月7日。
148. 増田聰「震災復興企業実態調査からみた東日本大震災の被害像」東北地理学会2012年度秋季学術大会、秋田大学、2012年10月13日。
149. 増田聰「震災復興企業実態調査と復興モニタリング」東北都市学会2012年度大会、石巻専修大学、2012年11月10日。
150. 吉原直樹（コーディネーター）・増田聰ほか「復興とボランティア活動」東北都市学会2012年度大会公開シンポジウム、2012年11月11日。
151. 増田聰「東日本大震災からの復興と起こりうる未来：都市計画と地域経済／まちづくりと生業」第41回都市交通計画全国会議、宮城県庁講堂、2012年11月15日（基調講演）。
152. 増田聰「復興のその先にあるハウジング：シェアある暮らしの創造へ（メンテーター）」日本建築学会東北支部・あすと長町仮設住宅コミュニティ構築を考える会、あすと長町仮設住宅集会所、2012年11月18日。
153. 増田聰（メンテーター）第4回東京セミナー「自然災害の経済学：東日本大震災から何を学ぶか」東北大学文学研究科グローバルCOEプログラム「社会階層と不平等教育拠点」、六本木ヒルズ・アカデミーヒルズオーディトリアム、2013年1月14日。
154. 増田聰「地域に根ざした防災計画の策定と課題」宮城教育大学教職大学院「学校・地域連携研究シンポジウム」第2回「地域協働による防災教育をめざして」、仙台ガーデンパレス、2013年2月11日（基調講演）。
155. 滕媛媛・増田聰「中国におけるニュータウン・コミュニティの階層分化：江西省南昌市紅谷灘新区における住民調査を事例として」平成24年度日本都市計画学会南東北ブロック学術交流会、郡山市民交流プラザ、2013年3月2日。
156. 和田賢一・増田聰「高齢化社会における医療機関によるまちづくりに関する一考察：福島市を事例として」平成24年度日本都市計画学会南東北ブロック学術交流会、郡山市民交流プラザ、2013年3月2日。
157. 増田聰「『計画の震災』としての東日本大震災の次なるステージに向けて（総括メンテーター）」日本建築学会東北支部（共催：東北大学大学院経済学研究科・震災復興研究センター）、東北大学地域イノベーション研究センター、2013年3月5日。

158. 増田聰「東北復興の起こりうる未来：シナリオ・プランニングによる展望と評価」ソウル大学校日本研究所・東日本大地震2周年国際シンポジウム、ソウル大学ソチョンホール（韓国）、2013年3月11日（基調講演）。
159. 増田聰「仮設住宅のあり方と政策的な提言」日本地理学会2013年春季学術大会・シンポジウム『東日本大震災における仮設住宅の生活環境と住民の健康：パーソナル・スケールでの実証的研究に基づく提言』、立正大学熊谷キャンパス、2013年3月30日。
160. Yoshiyuki Murayama, Shin-Ichi Hirano, Satoru Masuda “Earthquake Damage and Issues on Housing Estates on Transformed Hills in Japan” International Geographical Union 2013, Kyoto Regional Conference, 2013年8月7日。
161. Satoru Masuda “Panel survey of corporate activity on damage and recovery in Tohoku region after the Great East Japan Earthquake” International Geographical Union 2013, Kyoto Regional Conference, 2013年8月7日。
162. Satoru Masuda and Yuanyuan Teng “Panel survey of corporate activity on damage and recovery in Tohoku region after the 3.11 Great East Japan Earthquake—Estimation of fragility curve of economic damage—” International Symposium on City Planning 2013: Resilient and Sustainable Cities, Sakura Hall Tohoku University, 2013年8月23日。
163. 増田聰「震災復興：『東北』はどこへ『向かう』のか」東北大学リベラルアーツサロン第25回、東北大学片平北門会館、2013年9月6日。
164. 村山良之・増田聰「活断層上の土地利用規制を含む徳島県の防災条例：条例の制定プロセスと成立の条件」日本地理学会秋季学術大会、福島大学、2013年9月28日。
165. 増田聰「復興公営住宅のあり方と政策的提言」日本地理学会2013年秋季学術大会・公開シンポジウム『仮設住宅から復興公営住宅へ：地理学と隣接分野からの提言』、福島大学、2013年9月29日。
166. Yasuto Kuwahara, Isao Hasegawa, Masayuki Yoshimi, Yuichi Namegaya, Haruo Horikawa, Misato Nakai, Satoru Masuda “Characteristics of seismic and tsunami fragility of industries, revealed by the 2011 Tohoku-oki earthquake, NH43C” Asia-Pacific Region Global Earthquake and Volcanic Eruption Risk Management (G-EVER) for Disaster Mitigation I, the American Geophysical Union's 46th annual Fall Meeting, San Francisco, California, 2013年12月12日。
167. 増田聰「被災地再建への課題と提言：宮古のまちを今後どうするか」日本地理学会・被災地再建研究グループ・第1回公開シンポジウム（東北地理学会2013年度第2回研究集会）「宮古での『東日本大震災』を検証する」、宮古市陸中ビル・大ホール、2013年12月15日。
168. 関根良平・佐々木達・小田隆史・増田聰「福島県いわき市における農産物風評被害のダイナミクス：第2回農産物購買行動アンケート」2014年日本地理学会春季学術大会、国士館大学世田谷キャンパス、2014年3月27日。
169. Satoru Masuda “Panel survey of corporate activity in Tohoku region after the Great East Japan Earthquake: towards the estimation of economic damages and the evaluation of recovery process from earthquake, tsunami and nuclear hazard” Session 1610. The Fukushima Disaster: Three Years Later 4 (Energy, industry and communities), 2014 Annual Meeting of the Association of American Geographers, Tampa Convention Center (Florida, USA), 2014年4月9日。
170. 桑原保人・長谷川功・吉見雅行・行谷佑一・堀川晴央・中井未里・増田聰「2011年東日本大震災の被災地企業アンケートデータから作成した産業の地震・津波フランジリティ曲線」日本地球惑星科学連合大会（H-DS28 セッション：アジア太平洋地域の地震・津波・火山噴火ハザードとリスク）、パシフィコ横浜、2014年5月1日。
171. 増田聰・叶聘「東日本大震災からの復興まちづくりと被災地住民の再建意向：仙台市宮城野区南蒲生地区の事例」東北地理学会2014年度春季大会、仙台市戦災復興記念館、2014年5月18日。
172. 増田聰・佐藤健・小野裕一・吉田浩・大滝精一・桑山渉・高浦康有・大澤理沙・八木橋雄介「拠点研究C-7：震災復興後を視野に入れた地域建設産業の革新と再生」東北大学災害科学国際研究所・

平成 25 年度特定プロジェクト研究成果報告会（ポスターセッション），東北大学片平さくらホール，2014 年 7 月 13 日。

173. 増田聰・邑本俊亮・柴山明寛・関根良平・小田隆史・小金澤孝昭・高木亨・佐々木達「連携研究 b-1：風評被害を克服する食料生産・供給体系の構築に関する調査研究」東北大学災害科学国際研究所・平成 25 年度特定プロジェクト研究成果報告会（ポスターセッション），東北大学片平さくらホール，2014 年 7 月 13 日。
174. 花岡和聖・石坂公一・小野田泰明・増田聰・磯田弦・小田隆史・高木亨・小金澤孝昭「連携研究 b-33：被災地の商業機能再建モニタリング調査」東北大学災害科学国際研究所・平成 25 年度特定プロジェクト研究成果報告会（ポスターセッション），東北大学片平さくらホール，2014 年 7 月 13 日。
175. 佐藤翔輔・今村文彦・増田聰・麦倉哲・会津泉「連携研究 b-4：超広域災害における災害対応支援 NPO の効果的な連携モデルの構築」東北大学災害科学国際研究所・平成 25 年度特定プロジェクト研究成果報告会（ポスターセッション），東北大学片平さくらホール，2014 年 7 月 13 日。
176. 増田聰・佐藤正実「まちづくり・地域学習ツールとしての古地図アプリの可能性：『仙台地図さんぽ』の事例」平成 26 年度日本地図学会定期大会，東北大学片平さくらホール，2014 年 8 月 8 日。
177. 増田聰「第二部：被災者の生活再建と『こころのやすらぎ』と健康を考える（コメントータ）」日本地理学会被災地再建研究グループ・第 3 回公開シンポジウム「大槌での『東日本大震災』を検証する」，大槌町中央公民館，2014 年 9 月 14 日。
178. 増田聰「震災復興計画のターミナル・ケア」建築学会東北支部・災害に強いまちづくりシンポジウム「東日本大震災の教訓と復旧・復興上の課題」，仙台メディアターク，2014 年 10 月 28 日。
179. 増田聰「東日本大震災の災害危険区域と防災集団移転促進事業の課題」東日本大震災の住宅復興と自治体の災害対策シンポジウム実行委員会・兵庫自治学会「東日本大震災の住宅復興と自治体の災害対策」，神戸・元町中華会館 7 階東亞ホール，2014 年 11 月 15 日。
180. 増田聰「震災復興企業実態調査にみる東北経済」東京大学空間情報科学研究センター・CSIS DAYS 2014 特別セッション・ライトニングトーク，東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト：フューチャーセンター，2014 年 11 月 22 日。
181. 佐藤健・増田聰・柴山明寛「仙台市地域防災リーダーの養成プログラムの開発」日本地震工学会（GO20-Thu 防災計画・リスクマネジメントおよび社会・経済問題），幕張メッセ国際会議場，2014 年 12 月 4 日。
182. 増田聰「経済学研究科・震災復興研究センターでの活動：震災復興企業実態調査にみる東北経済」東北大学・知の創出センター 第 3 回クワトロセミナー「東日本大震災後の人文・社会科学：何を学び、どのような役割を果たすのか」，東北大学・文科系総合研究棟 11 階大会議室，2014 年 12 月 10 日。
183. 増田聰「シンポジウム総括 学術領域連携から考える山水復興学：地域型復興住宅と漁師学校シンポジウム」筑波大学・東北大学大学院都市・建築学専攻・東北大学災害科学国際研究所（共催：一般社団法人国立大学協会・平成 26 年度防災・日本再生シンポジウム，アーキエイド），東北大学片平さくらホール，2015 年 1 月 11 日。
184. 増田聰「パネルディスカッション：22 世紀に向けた自然エネルギーと地域づくり・コーディネーター」みやぎ建設総合センター・低炭素社会構築モデル事業シンポジウム『震災復興を越えて：低炭素化社会の広瀬川・名取川水系モデルについて』，宮城県建設産業会館，2015 年 3 月 27 日。
185. 増田聰ほか「過疎地域・津波常襲地域の事前計画作成／時系列の中の仮設住宅／被災者の移転候補地／地元組織での事前の話し合い／マスターープランレベルの大きな議論／ファシリテーションできる地元の人才培养」第 30 回 ICUS オープンレクチャー「未経験の復興状況を前提とした『復興準備』のあり方を考える」，東京大学生産技術研究所，2015 年 7 月 4 日。
186. 増田聰・柴山明寛・関根良平・小田隆史・小金澤孝昭・高木亨・佐々木達「拠点研究 B-73：風評被害を克服する食料生産・供給体系の構築に関する調査研究」東北大学災害科学国際研究所・平成 26 年度特定プロジェクト研究成果報告会（ポスターセッション），東北大学災害科学国際研究所（青葉山新キャンパス），2015 年 7 月 12 日。

187. 増田聰・片岡芳浩「地下鉄整備とバス路線再編の影響：仙台市地下鉄東西線にみる八木山地区の事例」東北地理学会秋季大会, 上越教育大学, 2015年10月17日.
188. 増田聰「被災地域における経済復興と産業再生」日本建築学会災害委員会・東北支部「東日本大震災からの復興の歩み：これから地震に備える」, せんだいメディアテーク, 2015年11月2日.
189. 増田聰「次の5年をデータから読み解く：NHK 1万人の声と東北大学1万社調査」ジャパン・ソサエティー(NY)・(公財)地域創造基金さなぶり主催「復興から地方創生へ：復興・創生期における自治体と企業の在り方」シンポジウム, 仙台市情報産業プラザ・多目的ホール, 2015年11月30日.
190. 高世祐基・磯田弦・増田聰「震災企業復興実態調査の地域分析」地理情報システム学会東北支部研究交流会, 東北大学工学部・人間環境系教育研究棟, 2015年12月10日.
191. 増田聰「東日本大震災から5年、被災地の経済復興」Foreign Press Center, Tokyo, 2016年2月25日.
192. 増田聰「総括コメント」日本地理学会公開シンポジウム「東日本大震災の避難行動と避難生活：岩手県山田町の津波被災地での地理学的『震災記録』」, 早稲田大学早稲田キャンパス, 2016年3月22日.
193. Yuanyuan Teng and Satoru Masuda “Residential Segregation in China’s New Towns : Evidence from Nanchang Honggutan New District” 2016 American Association of Geographers Annual Meeting, Hilton San Francisco Union Square, 2016年4月1日.
194. 増田聰・吉田浩・小野裕一・桑山渉・小田隆史・高木亨・野呂拓生・萩原泰治・八木橋雄介「復興特需の終了を視野に入れた地域産業の革新」東北大学災害科学国際研究所・平成27年度特定プロジェクト研究成果報告会(ポスターセッション), 東北大青葉山キャンパス, 2016年7月10日.
195. 佐藤健・藤岡達也・桜井愛子・源栄正人・丸谷浩明・増田聰・柴山明寛・保田真理・戸田芳雄・渡邊正樹・矢崎良明・数見隆生・野澤令照・小田隆史・村山良之・矢守克也「防災教育国際協働センターを拠点とした地域に根差した防災教育モデルの創造」東北大学災害科学国際研究所・平成27年度特定プロジェクト研究成果報告会(ポスターセッション), 東北大青葉山キャンパス, 2016年7月10日.
196. 増田聰「宮城の未来・復興へのまちづくり」第36回地方自治研究全国集会, 自治研中央推進委員会・自治研宮城県実行委員会, 仙台サンプラザホール, 2016年10月14日(基調講演).
197. 増田聰「都市政策の課題解決に向けて」平成28年度・第36回地方自治研究全国集会第6分科会「復興・再興・振興：消滅でも創生でもない地域づくり」, TKPガーデンシティ仙台・勾当台, 2016年10月15日.
198. 増田聰「東日本大震災からの復興過程で提起された『新しい都市学』の方向性：<特別セッション>新しい都市学の成立を目指して」日本都市学会年次大会, 岡崎市図書館交流プラザ(りぶら), 2016年10月30日.
199. 増田聰「東日本大震災の被災体験と東北都市学会：日本都市学会第63回大会・『新しい都市学』特別セッションを踏まえて」東北都市学会2016年度大会, 福島市アクティブシニアセンターA・O・Z, 2016年11月19日.
200. 増田聰「都市産業の復興モデル：東日本大震災後のグループ補助金制度の導入を事例に」2017年度日本都市学会第64回大会, 石巻魚市場, 2017年10月28日.
201. 増田聰「都市計画の現場とツールのあり方」地理情報システム学会特別セッション：関本義秀・瀬戸寿一編「今後の地域の情報システム×市民×まちづくりのあり方」, 宮城大学大和キャンパス, 2017年10月29日.
202. 増田聰・東北大経済学研究科震災復興研究センター「セッション・東日本大震災からの経済復興・産業再生：震災復興モニタリングと地域経済分析の課題(Economic Recovery and Industrial Revitalization from the Great East Japan Earthquake : Issues of earthquake recovery monitoring and regional economic analysis)」世界防災フォーラム2017, 仙台国際センター, 2017年11月27日.
203. 増田聰「震災復興のヒューマンファクター開催にあたって」日本人間工学会第59回大会・シンポジウム「震災復興のヒューマンファクター」, 宮城学院女子大学(仙台市), 2018年6月2日.

204. 増田聰・手島浩之・菅野拓・高田篤・松原久・新井信幸「シンポジウム：東日本大震災からの復旧・復興過程で明らかになった人的要因・人間工学的課題」日本人間工学会第59回大会, 宮城学院女子大学（仙台市）, 2018年6月2日.
205. 吉田祐也・佐々木秀之・増田聰「東日本大震災における都市近郊農村の復興まちづくり：仙台市岡田地区の町内会組織の動向と行政施策との関連性の整理」2018年度日本建築学会大会（東北）・農村計画研究協議会「震災復興から俯瞰する未来社会と計画学II：東北復興からの発信」, 東北大学川内北講義棟A200室, 2018年9月4日.
206. 吉田祐也・佐々木秀之・増田聰「都市近郊農村における復興まちづくりとコミュニティレジリエンス」2018年度東北地理学会秋季学術大会, 青森市文化観光交流施設「ねぶたの家ワ・ラッセ」, 2018年10月27日.
207. 増田聰（討論者）「日本学術会議公開シンポジウム：震災・復興資料の収集・アーカイブ化の現状と今後の課題」日本学術会議社会学委員会「東日本大震災後の社会的モニタリングと復興の課題検討分科会」・福島大学, 郡山市民交流プラザ・郡山ビッグアイ, 2018年11月10日.
208. 佐藤健・柴山明寛・桜井愛子・増田聰「仙台市地域防災リーダーによる地域に根差した防災活動」第15回日本地震工学シンポジウム（15JEES）・ポスター発表PS1-01-48, 仙台国際センター, 2018年12月7日.
209. 増田聰「震災復興の枠組の再検討：北海道胆振東部地震の事例から」災害と経済に関する国際シンポジウム, 神戸大学社会システムイノベーションセンター, 国際協力研究科（第5学舎）, 2019年3月15日.
210. 吉澤武彦・苅谷智大・小地沢将之・村上早紀子・増田聰（討論・コーディネータ）「見学会・座談会 東日本大震災から8年：石巻からはじまる復興まちづくり」日本建築学会東北支部・地方計画部会, 石巻市かわまち交流センター, 2019年3月17日.
211. 高千穂安長・増田聰「自治体防災政策評価の有効性検証」日本評価学会春季第16回全国大会, JICA地球ひろば（東京市ヶ谷）, 2019年5月25日.
212. Satoru Masuda “1. Economic Recovery in Tohoku Region after the Great East-Japan Earthquake and 2. Information Provision (hazard map) and Land Use Control”, Texas A&M U, Kobe U and Tohoku U Lectures and Meeting, International Research Institute of Disaster Science Tohoku University, Sendai, 2019年5月27日.
213. 増田聰「復興研究と政策評価・モニタリング：『震災復興研究センター』から『みやぎボイス』まで」日本学術会議公開シンポジウム「復興のいまとこれから：社会的モニタリングと震災アーカイブの役割」（日本学術会議社会学委員会・東日本大震災後の社会的モニタリングと復興の課題検討分科会）, 東北大学片平さくらホール, 2019年8月10日.
214. 増田聰「復興計画のモニタリングと政策評価・復興研究」みやぎ震災復興研究センター『東日本大震災100の教訓』出版記念のつどい・リレートーク, 仙台市戦災復興記念館, 2019年8月11日.
215. 増田聰「経済復興・産業再生の政策ツール：グループ補助金制度の設計・導入・評価」復旧復興制度勉強会, 東北大学災害科学国際研究所, 2019年8月20日.
216. 宮本龍・佐藤一郎・林晃大・増田聰「企業の有形固定資産を対象とした津波損傷度曲線の構築」2019年度日本建築学会大会（北陸）, 金沢工業大学, 2019年9月4日.
217. 中島紀世生・増田聰・中村哲也「地域づくりへの参画とその関心度：大崎市岩出山地域における住民アンケートからの接近」日本都市学会第66回大会, 広島JMSアステールプラザ, 2019年10月25日.
218. 増田聰・手島浩之「震災復興活動の市民参加型モニタリングと政策評価・提言：東日本大震災後の復興シンポジウム『みやぎボイス』の経験から」日本都市学会第66回大会, 広島JMSアステールプラザ, 2019年10月25日.
219. 増田聰「震災復興シンポジウム『みやぎボイス』にみる復興課題の変遷とラウンドテーブル型政策評価の可能性」日本災害復興学会2019年度鳥取大会第4分科会「災害復興における暮らしの再生

—生活再建と安全確保の両立を目指して—」、鳥取大学鳥取キャンパス、2019年11月9日。

220. 中村哲也・増田聰・丸山敦史・Steven Lloyd「太陽光パネルの設置と新エネルギーの選好意識：脱原発を目指すスイスを事例として」経和会記念財団研究会プロジェクト「脱原発社会における再生可能エネルギーの消費者評価」、東北大学経済学研究科・地域イノベーション研究センター、仙台、2020年1月21日。
221. 増田聰「震災復興のモニタリングと政策評価」慶應義塾大学院経営管理研究科「Grand Design by Japan 2019 : Natural Disaster and Crisis Management」、慶應義塾大学日吉キャンパス・協生館、2020年2月23日。
222. 増田聰「経済復興・産業再生の政策ツール：グループ補助金制度の設計・導入・評価」みやぎ震災復興研究センター「震災復興10年検証枠組み検討ブレインストーミング（第14回）」、みやぎ県民センター、2020年7月15日。
223. 増田聰「復興研究と実践知：『震災復興研究センター』から『みやぎボイス』まで」日本学術会議・地域研究委員会地域学分科会（電子会議）、日本学術会議、2020年7月19日。
224. 遠州尋美・小川静治・阿部重憲・増田聰・千葉昭彦・中嶋廉（パネリスト）「復興構想会議とは何だったのか」2020年度みやぎ震災研第1回例会＆震災復興10年検証枠組み検討ブレスト（第17回）、仙台市戦災復興記念館、2020年11月14日。
225. 増田聰「討論総括」東北大学東北アジア研究センター共同研究プロジェクト「新型感染症の発生がもたらす社会的格差の拡大：マイノリティグループに着目して」、東北大学経済学研究科震災復興研究センター（on-line）、2021年1月9日。
226. 増田聰「復興研究と実践知」東北大学災害科学国際研究所・総合減災エリア研究発表会、オンライン、2021年1月25日。
227. 増田聰・中村哲也・磯田弦・佐々木伯朗・櫻木晃裕・野呂拓生・江川暁夫「東日本大震災からの経済復興・産業再生における政策ツールの評価」仙台防災未来フォーラム2021、東北大学経済学研究科震災復興研究センター、2021年3月7日。
228. Satoru Masuda “Closing Remarks” International Young Researchers Symposium “Urbanism in the Age of COVID-19: Toward an Inclusive and Resilient Society”, Center for Northeast Asian Studies, Tohoku University, 2021年3月20日。
229. 増田聰「総括コメント」コロナ禍の社会的影響と福祉支援研究会、東北大学東北アジア研究センター（共催：東北大学大学院経済学研究科震災復興研究センター）、2021年3月21日。
230. 増田聰「防災型土地利用規制の今：防集事業から立地適正化・流域治水論」2021年度東北地理学会春季学術大会、オンライン、2021年5月16日。
231. 中村哲也・増田聰・丸山敦史・Steven Lloyd「ハンフォード・サイトの浄化とまちづくりに関する意識調査：アメリカ・ワシントン州を事例として」2021年度東北地理学会春季学術大会、オンライン、2021年5月16日。
232. 小地沢将之・増田聰・村上早紀子「日本建築学会東北支部・福島県沖地震災害調査『生活関連の被害』報告」東北探訪エクスカーション・シンポジウム①「災害調査連絡会×福島県沖地震」、オンライン、2021年6月19日。
233. 手島浩之・宇都彰浩・真壁さおり・増田聰・安田直民・菊池遼「パネルC：みやぎボイス連携セッション」日本NPO学会第23回研究大会、東北大学（オンライン）、2021年6月19日。
234. 増田聰「コメント：震災11年目以降（東北大学として）何をすべきか」日本NPO学会・開催校企画・東日本大震災を振り返る会、東北大学（オンライン）、2021年6月20日。
235. 増田聰「『震災復興シンポジウム・みやぎボイス』から『市役所本庁舎建て替え・ラウンドテーブルへ』都市・地域デザインの多様なアプローチ分科会（日本学術会議土木工学・建築学委員会）、オンライン、2021年7月26日。

236. 高木亨・山川充夫・初澤敏生・増田聰（コメント・総合討論）シンポジウム III「原子力災害被災地、これまでの10年とこれからの10年：被災地復興とアーカイブから地理学の果たす役割を考える」、日本地理学会2021年秋季学術大会、オンライン（岡山大学）、2021年9月19日。
237. 長谷川公一・増田聰ほか「総合討論『日本の科学者』7月号を読んで」合同連続講座「大震災復興の10年を考える」（みやぎ震災復興研究センター・東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター・日本科学者会議宮城支部）、オンライン、2021年9月27日。
238. 増田聰「復興から創生へ」全国市町村サミット2021、オンライン、2021年10月29日（基調講演）。
239. 中村哲也・丸山敦史・増田聰「震災10年後の福島の復興と再生に関する統計分析」2021年度東北地理学会秋季学術大会、オンライン、2021年11月7日。
240. 中嶋紀世生・中村哲也・増田聰「フランスにおける地域コミュニティへの意識と価値観：住民意識調査からの分析」2021年度東北地理学会秋季学術大会、オンライン、2021年11月7日。
241. Takeshi Sato, Aiko Sakurai, Akihiro Shibayama, Satoru Masuda “Place-Based Activities of SENDAI BOSAI Leaders (SBLs) for Disaster Risk Reduction” 17th World Conference on Earthquake Engineering, Sendai International Center, Sendai, Japan, 2021年9月29日。
242. 増田聰「PPP／PFI事業の課題と展望：とうほくPPP・PFI協会の活動とSDGs」地域活性PFIフォーラム（とうほくPPP・PFI協会）、新潟県胎内市産業文化会館、2021年11月25日。
243. 増田聰・手島浩之・真壁かおり「アフターボイス2021：復興検証を望む他地域の視点」日本建築家協会東北支部アキテクツウイーク2021、メディアテーク・オープンスクエア、2021年12月2日。
244. 中村哲也・山川充夫・増田聰「震災10年を迎えた東北被災地の復興課題」国立大学協会令和3年度防災・日本再生シンポジウム「東日本大震災からの産業再生・経済復興の検証と展望（その1）」、東北大学・震災復興研究センター（共催：国大協）、2022年2月16日。
245. 増田聰「市民セクターによる復興検証の模索：みやぎボイスの経験から」国立大学協会令和3年度防災・日本再生シンポジウム「東日本大震災からの産業再生・経済復興の検証と展望（その2）：NPOは何を変えたか—震災後10年におけるNPOの成果と課題—」、東北大学・震災復興研究センター（共催：国大協）、2022年2月28日。
246. 東北大学大学院経済学研究科震災復興研究センター・地域産業復興調査研究プロジェクト「2021年度『東日本大震災からの産業再生と地域経済・社会の展望：10年の『震災復興』の歩みは、被災地域に何を残したのか』」国立大学協会令和3年度防災・日本再生シンポジウム「東日本大震災からの産業再生・経済復興の検証と展望（その3）」、東北大学・震災復興研究センター（共催：国大協）、2022年3月19日。
247. 高千穂安長・増田聰「はじめに・東日本大震災と地域建設業」国立大学協会令和3年度防災・日本再生シンポジウム「東日本大震災からの産業再生・経済復興の検証と展望（その3）」、東北大学・震災復興研究センター（共催：国大協）、2022年3月19日。
248. 中村哲也・丸山敦史・増田聰「ALPS処理水海洋放流に伴う福島・宮城県沖水産物の購入意向への影響：1都4県におけるWeb調査からの接近」東北地理学会春季学術大会、オンライン、2022年5月14日。
249. 中村哲也・丸山敦史・増田聰「福島の林業再生とバイオマス発電推進に関する住民評価：福島県におけるWeb調査からの接近」経済地理学会第69回大会（地理科学学会2022年度春季学術大会）、オンライン、2022年5月21日。
250. 増田聰「官民連携の最近の動きと事例に見る課題：宮城県・仙台市の事例から」とうほくPPP・PFI協会第41回例会、仙台市民活動サポートセンター、2022年5月27日。
251. 中村哲也・丸山敦史・増田聰・濱島敦博「ALPS処理水海洋放流に伴うタイ向け福島・宮城県沖水産物の購入意向への影響：バンコク市内におけるWeb調査からの接近」日本国際地域開発学会2022年度春季大会、福岡県立大学（オンライン）、2022年6月4日。
252. 小地沢将之・増田聰・村上早紀子「生活関連の被害」日本建築学会東北支部・災害調査報告会「令和4年3月16日の福島県沖の地震：災害調査速報」、オンライン、2022年6月18日。

253. 増田聰・市古太郎・越山健治・井若和久・井内加奈子・永松伸吾・岡村健太郎・河村和徳・菊池雅彦「復興検証のテーマ：様々な立場から考える復興検証の目的とその中心」みやぎボイス 2022『災害が日常になった今』、仙台メディアテーク（オンライン），2022年7月2日。
254. 中村哲也・丸山敦史・増田聰「福島産原木及び菌床シイタケの購入意向と放射性物質の影響：福島県内におけるWeb調査からの接近」日本農業市場学会、摂南大学（大阪府枚方市）・オンライン，2022年7月3日。
255. 中村哲也・増田聰「震災10年を迎える東北被災地の農水産業の風評被害克服に関する市民評価」東北大学災害科学国際研究所 IRIDeS 金曜フォーラム「2021年度共同研究成果報告会」、オンライン，2022年7月16日。
256. 増田聰「市民セクターからの復興モニタリング：宮城県における活動事例の成果と限界」日本学術会議公開シンポジウム「東日本大震災の復興をめぐる社会的モニタリングの方法と課題」、オンライン，2022年9月17日。
257. 手島浩之・宇都彰浩・増田聰・澤田雅浩・石塚直樹「災害復興における越境的な対話の場の可能性と課題：みやぎボイス10年の取り組みから」日本災害復興学会2022年度京都大会、京都大学宇治キャンパス，2022年10月1日。
258. 中村哲也・丸山敦史・増田聰「日英仏におけるエネルギー・ミックスの展望と課題」日本都市学会第69回大会、名古屋学院大学名古屋キャンパス・しろとり翼館，2022年10月30日。
259. 中村哲也・S.Lloyd・丸山敦史・増田聰「ロシアのウクライナ軍事侵攻がドイツのエネルギー選択と食料安全保障にもたらす影響」東北都市学会2022年度大会（第24回）、石巻専修大学，2022年11月12日。
260. 増田聰・宇都彰浩・西館和哉・真壁さおり・手島浩之・小林郁雄・澤田浩「3.11以前の災害復興の実践者・研究者と話す：対話の場やネットワークは何を越えようとしているのか」アフターボイス2022（みやぎボイス連絡協議会），せんだいメディアテーク・オープンスクエア+オンライン（ZOOM），2022年12月17日。
261. 増田聰「講評」東北大学2022年度地域産業復興調査研究プロジェクト・NPO班シンポジウム「震災後の東北におけるNPO：変遷・取り組み・到達点と課題」、東北大学大学院震災復興研究センター・SDGsラボ，2023年2月24日。
262. 増田聰「公民連携の現在：宮城県・仙台市の事例からみた課題」日本建築学会東北支部地方計画部会「官と民のあいだのまちづくり」、オンライン，2023年3月5日。
263. 櫻井一弥・伊藤雄一・増田聰「PFI事業について」とうほくPPP・PFI協会第42回例会、仙台市民活動サポートセンター，2023年3月9日。
264. 増田聰「総評・選考経緯」日本建築学会東北支部・第43回東北建築賞作品賞選考報告会、オンライン，2023年5月13日。
265. 中村哲也・Steven Lloyd・丸山敦史・増田聰「東日本大震災における復興課題と教訓に関する住民評価」東北地理学会春季学術大会、東北大学環境科学研究所，2023年5月21日。
266. Tetsuya Nakamura, Steven Lloyd, Atsushi Maruyama, Satoru Masuda “Attitudes towards the release of ALPS water from Fukushima NPP”, i-Rec (Information and research for reconstruction) Conference 2023: Tensions Between Tradition and Innovation in Disaster Risk Reduction, Climate Action, and Reconstruction, Sendai, 2023年6月4日。
267. 増田聰「震災復興と地域経済の再生：グループ補助金制度を参考に」令和5年度3.11学び直し塾第7回（宮城県・東北大学災害科学国際研究所），みやぎ東日本大震災津波伝承館（石巻市），2023年8月6日。
268. 増田聰（ファシリテータ）・中林一樹・橋本大樹・佐伯裕武・福留邦洋・Elizabeth Maly「関東大震災の経験を踏まえて、東日本大震災の100年を考える」みやぎボイス2023：震災復興を100年のバースペクティブで考える（みやぎボイス連絡協議会），仙台市メディアテーク，2023年9月2日。
269. 中村哲也・丸山敦史・増田聰・Steven Lloyd「福島県における地熱開発と地域共生に関する住民評価」東北都市学会2023年度大会（第25回），弘前大学・50周年記念会館，2023年9月2日。

270. 佐藤亜紀・菅野孝明・加藤奈緒・前司昭博・平良柚大・中井直歩・野地雄太・大和田敬・志賀風夏・新妻香理・手島浩之・増田聰「震災 100 年後のジモトとセカイ」日本災害復興学会 2023 年度被災地対話企画：ふくしまボイス、東日本大震災・原子力災害伝承館（福島県双葉町）、2023 年 9 月 23 日。
271. 増田聰「主題解説 研究交流集会のねらいと課題」みやぎ震災復興研究センター／東北大学大学院経済学研究科・震災復興研究センター「検証なき復興フェードアウトに抗して」、地域イノベーション研究センター（仙台市）、2024 年 2 月 11 日。
272. 増田聰「まちづくり概念の成立と展開」経済地理学会北東支部 2 月例会、東北学院大学（仙台）、2024 年 2 月 17 日。
273. 増田聰「日本のまちづくりを捉え直すために」人口減少・高齢化時代における農山村の自立した地域社会システム形成に向けた日仏比較研究・報告会（鹿島財団研究助成・研究班）、明治大学・リバティタワー 1092 教室、2024 年 3 月 8 日。